

## 訂三 宮城名数

著者	矢島 玄亮
雑誌名	東北大学附属図書館研究年報
号	20
ページ	1-73
発行年	1987-12-01
URL	<a href="http://hdl.handle.net/10097/00133209">http://hdl.handle.net/10097/00133209</a>

# 訂三 宮城名数

矢 島 玄 亮

## は し が き

この小篇は曾て東北大学附属図書館で参考資料として騰写出印したものの増改である。

小篇は昔から今に至るまでの宮城県内の名数を随時随録したものである。したがって誤聞誤記もあり脱漏も多々あろう。読者諸賢の叱正増補を切望してやまない。

採録の範囲は旧仙台藩内で、旧地名が大半である。疑わしいもの。他県にまたがるものは「」に挟んだ。

用典は「写本奥陽名数」が大部分であり、その巻数は明記しなかった。その他の用典は次の通りである。

朝——朝日新聞。

石——石巻市史。同編集会。S 28——38。

岩——岩沼物語。佐々木喜一郎撰。

奥——奥塩地名集（仙台双書本）。

河——河北新報。

河夕——河北夕刊。

奇——仙台的珍談奇談。田村昭編著。S 59。

旧——旧仙台領金石志（宮城県史十七）。

源——源貞氏耳袋十三冊。写本。

公——公儀（御書上写。写本）。

雜——雜説囊話二卷。林自見。明和三。

三——三才紀略二卷。星野寿平。M 33稿。

神——延喜式神名帳。

仙——仙松塩遊覧案内。M 40。

仙鹿——仙台鹿の子。大内源太左エ門。M 32。

仙金——仙台金石志（仙台双書本）。

仙藻——仙台風藻八卷。今泉寅四郎。T 1。

仙武——仙台武鑑。佐藤信直（仙台双書本）。

仙名——仙台人名大辞書。菊田定郷。S 8。

電——電狸翁夜話。小西利兵工。S 8。

読——読史備要——名数一覽。東大史料編纂所、S 8。

日——日本行脚文集七卷。大淀三千風。元禄三年奥書

刊本。

囊——囊塵挨捨録五卷。遠猪走道知。文化 8。

文——伊達家文書（大日本史料本）。

每——毎日新聞。

松——松島巡覧記。相原友直（仙台双書本）。

耳——郷土史仙台耳ぶくろ。三原良吉。S 58。

宮——宮城県史。同編纂会。

や——やくたい草。伊達慶邦（仙台双書本）。

夜——仙台郷土史夜話。三原良吉。S 46。

（明治はM。大正はT。昭和はSと記す）。

昭和六十年十二月十八日。

—

○一郷長者（仙藻 2）。

松川奉親（通称養哲。東岩井郡清水村仏坂の人。

医。文化 116 卒、72）。

○一郡御追放（藩政時代の士罪軽重）。

御城下並に宮城郡。

○（一双）（仙台藩弓道名手。藩主綱村公の御覽堂形射

に優劣なく一双と賞せられた（河—S 37 4 18）。

平塚粃右エ門。尾崎隼人豊宣（四兼流祖。江戸人）。

○奥州一宮正一位塩釜神社大明神（亦称鎮守神社）。

祭日<sup>三月十日</sup><sub>七月十日</sub>。弘仁式主税帖に社名初見。八十年後の延

長五郎撰延喜式主税帖にも記載。一万束。大日本地名辞書に諸州に一宮の称起れるは延喜式後という。

○海内第一（漢詩。仙藻 4）。

松井千年(号竹山。善詩尤長詠物体。文久2425卒、59)。

○海内無双(詩人。仙藻6)。

国分高胤(字士美。通称豁。号松洲、後改青嵐山人、安政41生)。

○関東以東第一儒宗(仙藻2)。

新井義質(字子敬。号滄洲。佐久間洞巖季子。仙台藩学教授、寛政4416卒79)。

○国分一之宮(神社)。

諏訪神社(国分三十三郷鎮守。宮城郡愛子町大字下愛子鎮座。延暦中創建。現社殿は寛永12年伊達政宗建立)。

○第一儒宗(仙台藩儒者。仙藻2)。

畑中盛雄(字仲卿、通称多忠。太沖。号荷沢。寛政91120卒、64)。

○当今第一(仙台藩士。仙藻3)。

阿部鶴鳴(字子野。号岳陽。柴田郡船岡人。医。文化29卒、54)。

○韜鈴第一(仙台藩士、仙藻2)。

水野定泰(通称五郎右エ門。号松雨。明和4926卒、78)。

## 二

○巖井郡二夫子(東西巖井郡の儒者二人)。

千里東山(名正忠。字子恕。別号泰膳。緑天居。東巖井郡人。M34330卒。80)。

七ノ宮孚盛(字中興、号稻峯、北水。世々一関住。M4252卒、75)。

○華胄双壁(仙台藩主一族。詩人。仙藻—和人名数)。伊達邦孚(字子華、通称式部。号蕙園。伊達宗賢長子。文久2916卒、34)。

伊達桂園(字仲徳。通称源次郎後兵庫。安芸。涌谷邑主。天保1065卒、32)。

○金山二區(仙台領内鉱山)。

津山(膽沢郡)、玉山(氣仙郡)。  
○外科の双壁(河—S311027)。

関口藩樹。杉村七五郎。

○講武二場（仙台城下講武所二処）。

躑躅岡・杉山台。

○射場二処（仙台城下弓道場）。

旧花壇（折懸堂形）。躑躅岡。

○修験両録所（仙台城下）。

良覚院（本山派）。東光院（当山派）。

○新体詩の双壁（M 20 年頃、宮 14）。

土井晚翠。島崎藤村。

○〔世界二大鉄鋼研究所〕。

東北帝国大学鉄鋼研究所（T 5 本多光太郎開設。仙

台市片平丁）。

独乙カイザーヘルム研究所（現マックスプランク研

究所）。

○仙台安政画工聯壁（山水画家。仙藻——和人名数）。

栗村北沙（名義迪。字子啓。別号伏水。六豫堂。安

政 5 12 11 卒、60）。

高橋巴山（名貞則、字青卿、別号松島漁隱。M 4 11

24 卒、76）。

○仙台カトリック二大神父（河—S 30 6 25）。

デー・ゴデ・カルバリヨ神父（元和 11 1 4 仙台広瀬

川畔にて殉教。日本名長崎五郎エ門。42）。

フランシスコバラヤス神父（元和 7 来仙。寛永 16 12

21 捕えられ、翌 17 年江戸で殉教。日本名フランシ

スコ孫右エ門）。

○仙台歌人二田（仙名）。

保田光則（国学者。通称貞治。号渚廼舎。養軒。M

3 3 17 卒、74）。

本田春雄（九州佐賀人。号空蟬坊。近衛流和歌を以

て来仙、鈴木惣内と改名。M 12 6 12 卒）。

○仙台二大外科名医（明治初期）。

赤星研造（仙台）、佐藤 進（順天堂）。

○仙台二書生（仙藻——和人名数）。

太田 盛。

岡啓輔。

○仙台大儒（仙藻——和人名数。仙名）。

斎藤竹堂。

大槻盤溪。

○仙台大名医（明治初期、河夕——S 36 8 1）。

中目 齐（号物外。天保 4 生。T 10 12 23 卒、87）。

石田 真（号天籟。仙台藩医。綿織即休第 6 子。天

保 6 生。M 24 4 21 卒。55）。

○仙台藩準城二ヶ所（館より城に近い構。河——S 34 10

11）。

岩出山城（岩出山町）。金山城（丸森町金山）。

○仙台父子聯壁（漢詩人。仙藻——和人名数）。

畑中荷沢。

畑中白華。

○仙台戊辰二使者（慶応 4 3、仙台藩会津征討の際の

使者。仙名）。

玉蟲左太夫（名誼茂。号拙斎。東海。M 2 4 14 切腹。

47）。

若生文十郎（号楽斎。天逸。仏山。玉蟲左太夫の副

使。M 2 4 14 切腹、28）。

○仙台両別業（邸）（両別業をみよ）。

○〔大名領地法双壁〕（戦国時代分国法）。

伊達家塵芥集。天文 15。伊達植宗制定。

大内家壁書（群書類従武家部所收）。

○着座医師両家（伊達家仙台藩医員）。

高屋家（千石）。錦織家（三百石）。

○調馬場二処（仙台城下馬場）。

追廻。

躑躅岡。

○〔二甘露門〕（天下緇徒（禪）の遊学多し）。

虎哉（仙台覚範寺開山。勅諡仏海慈雲禪師。慶長 16

5 8 寂、82）。

大蟲（野州靈岩寺住持岑鳳）。

○二郡追放（藩政時代の土罪軽重）。

宮城郡。

名取郡。

○二軒茶屋（仙台新寺小路。〔二軒茶屋〕。

大久保屋

鹿島屋（或は金華亭）。

○二郷（名取郡の村名）。

六郷村。 七郷村。

○二広土（平野。保田光則「撫子日記」に、我國の俚言に、田の面いと広き所をこうとうといふと。大日本地名辞書七）、陸前条に、名取郡南北の田野砥平の地に方俗広土の名あり、その語源を知らねど或は国府処の読か、という）。

大崎広土 宮城広土。

○二耕土

大崎耕土 金成耕土。

○二泉（仙武12）。

鹿兒泉（米ヶ袋）、柳泉（立町市店後、旧櫓丁右）。

○二大初午祭（河・毎—S 35 4 30）。

岩沼 竹駒神社。 中新田町。

○日蓮宗兩派（仙台城下）。

仏眼寺（身延派）、孝勝寺（富士（藤）派）。

○二年（仙台藩刑務所）。

仙台（宮城郡）、岩谷堂（江刺郡）。

○普化僧寺二區（仙台藩）。

布袋軒（名取郡増田町）。古川寺（志田郡古川市）。

○〔村上專精博士門下二大弟子〕（明治仏教界）。

境野 哲（号黄洋。東洋大学長。秋保村境野出身。S

8 卒、63）。鷺尾順敬。

○兩学校（仙台城下）。

養賢堂（藩学）、医学校（藩学）。

○兩山（藩主歴代墓所。仙台城下）。

恋路山瑞鳳寺（臨濟宗。瑞鳳殿は貞山政宗公。善応

殿は雄山綱宗公。妙雲界は紹山周宗公）。

兩足山大年寺（黄檗宗）（法華林には忠山公・徹山公・

桂山公。無尽灯には肯山公・獅山公・英山公・竜

山公）。

○兩神明社（仙台城下の神社）。

荒卷神明社（别当神宮寺）。

躑躅岡神明社（社司菊田讃岐）。

○兩別業（邸）（藩主の別邸）。

郷六御殿（一名楽寿園。綱村公設堂）。

小泉御殿。

○両八幡（仙台北城下八幡宮）。

大崎八幡宮（祭日は八月十五日）。

亀岡八幡宮（祭日は四月一日）。

○連歌宗匠二家（伊達家。仙台）。

猪苗代家（準一家。代々着座三百石）。

石井家（並御医師。二百七十石）。

### 三

○赤石三山（休火山系。昔は海上からも見られ、舟行の目標にしたという——毎S 30 6 25）。

亀ヶ森、愛宕、鹿の上。

○石越三絶（登米郡石越の儒臣三人）。

今野鳳の講議。千葉蘭陵の素読。千葉明溪の筆札。

○石巻三奇人（石5。仙名）。

毫良道人（書家。文政2 4（2）20卒、52）。

小西九兵工（黒沢茂七。安政5仙台小西家養子。M

20 6 7卒、49）。

田崎九万（T 7卒）。

○一木三銘（寛永15、安南船の伝えた伽羅木の銘香

名香「柴舟」のこと。文三の九六〇、一一〇九、二

九一（寛永11 12）に見ゆ。「翁草」六に「細川家の香

木」、「二川随筆」上、「譚海」12「伽羅木の沢山有る

は仙台様」。

世をわたるなくさめにせん我かたに、よせる柴ふ

ねそれならずとも（近衛閑白公）。返し「言の葉の匂

しなくは柴舟も、波のくち木となしやはてまし（伊

達中将）。

初音（きく度に珍らしければ郭公、いつも

初音の心地こそすれの古歌により、初音と名づく。

細川家へ伝えた本木<sup>モト</sup>）。

白菊（初音の改名。類ありと誰かは云はん

末匂ふ、秋より後のしら菊の花の歌により、後水

尾帝白菊と改名す。寛永3 9 6）。

柴舟（仙台伊達家へ伝えた末木）。

○岩出山三大副業（仙台伊達家一門居城下町の副業）。

竹細工（領主伊達村泰創始。凡そ300年前）。



凍豆腐（斎藤庄五郎創始。凡そ150年前）。納豆（小松某創始。凡そ150年前）。

室根神社（東山總鎮守。七郡の總鎮守）。× ×。  
○〔奥州三大川〕。

○歌枕三松（能因法師歌枕―陸奥）。

本の松（岩切）。中の松（未詳）。末の松（八幡）。

北上川（凡そ243籽）。阿武隈川（凡そ196籽。以上陸前。最上川（凡そ216籽。出羽）。

○〔江戸三大道場〕（幕末江戸の剣道場）。

○奥州三碑（一名宮城三碑・宮城の三筆）。

千葉周作道場（周作は宮城県栗原郡荒谷の人。北振

多賀城碑（多賀城市）。賴賢碑（一名御（雄）

一刀流。道場は神田お玉池にあり。技の剣として知

島碑。松島）。蒙古碑（一名。燕沢碑。燕沢）。

らる。浅草観音絵馬堂に門人一千人連名の大額を奉

○〔奥州三木〕（慈覚大師手植樹―「わがまち自慢ベスト

納―徳川幕府の制度」606頁）。桃井春造道場（鏡心

展）。

明智流。道場は京橋蛸河岸にあり。位の剣として有

箱泉寺枝垂栗。別名「袈裟掛の栗」（宮城県桃生郡河

名）。斎藤孫九郎道場（神道無念流。道場は麴町番町

南町）。× ×。

にあり。力の剣として有名）。

○〔奥州三名湯〕（一名奥州三古湯）（往古の温泉―河S

○大崎三城（伊達氏以前より大崎地方にあり）。

5486・仙台たなばたPR特集）。名取の御湯（宮城

伊達氏に滅さる―河S 34916）。

郡秋保温泉。「名取御湯碑」―「宮城県の金石文」。

名生城。中新田城。宮崎城（宮崎町）。

玉造の湯（陸羽沿線にあり。河南湯。「枕草子」の玉

○〔奥州三絶作者〕（仙藻―和人名数）。

造の湯は島根県の温泉なりという）。佐婆古の湯（福

松井梅屋。浦生君平。長尾秋水。

島県飯坂温泉）。

○〔奥州三神〕（神社）。

○〔奥州三門〕（寺院の山門。石2。「三」上に、山（三）

門は叡山に限る。他寺は二門とす。

永巖寺山門（石巻市。曹洞宗。同寺第七世利東普介建立）。誓願寺山門（俗称鶴亀門。弘前市）。長勝寺山門（弘前市）。

○大槻門三秀（西洋砲術家大槻竜之進の門人）。

若林友之。早井垂幹。牧野大膳。

○〔黄檗三老師〕（黄檗禪宗の高僧）。

鉄牛（仙台大年寺開山。勅諡大慈普応禪師）。隠元（名隆琦。1654年来日。黄檗山萬福寺創建。諡号大光普照国師。1592〜1673）。木庵。

○〔黄檗木庵会下三桀〕（黄檗宗）。

鉄牛道機。慧極道明。潮音道海。

○〔海内三斎〕（曹洞宗寺院）。

秀麗斎（宮城県名取郡高館鹿野東にあり「寝たか増田の耕竜寺、起きたか吉田の秀麗斎」の俗謠あり。可睡斎（遠州秋葉原日蓮寺）。隣峰斎（肥前国天草）。

○〔化政期俳諧三大家〕（文化文政年間の俳人）。

鈴木道彦（仙台人。本名由之。安政三卒。66歳）。

井上士朗（号枇杷園。名古屋の人。産科医。「枇杷園

七部集などあり。1742〜1812）。

夏目成美（江戸の人。名は包嘉。通称井筒屋八郎右エ門。号四山道人など。1749〜1818）。

○〔寛政三奇人〕（寛政時代の奇行者。読―三奇人）。

林子平（名は友直。江戸人。海国兵談などの著あり。幕府の忌諱にふれ仙台に禁錮。1738〜1793）。

高山彦九郎（下野の人。名は正之。自刃。高山朽葉集の著あり。1747〜1793）。

蒲生君平（宇都宮商家の生れ、江戸の人。「山陵志」「不恤緯」の著あり。1768〜1813）。

○〔関東三絶〕（一名関東三古碑―「海録」十四49をみよ）。

奥州多賀城碑。那須国造碑。上州多胡碑。

○〔北日本三大校〕（技芸―河S 373 21）。

祇園寺技芸専門学校（古川市）。×。×。

○旧跡三ヶ所（仙台下）。

鹿子清水（米ヶ袋）。清水の板橋（田町と荒町の間）。

狼坂オイヌ（新坂通り56番丁の坂）。

○〔国の三大史跡〕（宮城県政だより173号S5981）。

宮城県多賀城史跡。奈良県平安京史跡。福岡県大宰府史跡。

○熊野三社（名取郡熊野神社）。

若王子社（東）、証明殿（中）、老女祠（西）。

○〔源氏蚩發生地三所〕（天然紀念物。南喜市撰「ホテルの研究」〔M36刊〕に、守山ゲンジホテルを述ぶ）。

宮城県栗原郡沢辺。滋賀県守山。福岡県。

○〔荒城の月三詩碑〕（仙台市名誉市民土井晩翠〔1871

～1952）作詩、滝廉太郎（大分県人、1879～1903）の作曲）。

仙台市青葉城天守台跡。S278建立。福島県会津市

鶴ヶ城跡。S2265建立。大分県竹田市竹田関城跡

（作曲者故郷）。

○〔御三家〕（徳川幕府）。

仙台（伊達家）。水戸（徳川家）。紀州和歌山（徳川

家）。

○〔古代東北三城柵〕（毎S5766、史跡）。

膽沢城跡（水沢市佐倉河）。徳丹城跡（紫波郡矢巾町）。

志波城跡（盛岡市効外）。何れも坂上田村麻呂築造。

○米ヶ袋三丁（仙台城下）。

御鍛冶丁、中ノ坂、鹿子清水。

○〔三青葉山〕（歌名所）。

陸前国宮城郡仙台城〔清輔抄〕。若狭国三方郡〔勅撰名所集〕。近江国伊香郡〔名所方角抄〕。

○三荒井（仙台藩名吏。源ハ23）。

荒井加右エ門（名盛従。号桃蹊。寛政264卒。68）。

新井彦四郎、荒井軍治、

○〔三荒武者知事〕（明治初期県知事）。

宮城県知事船越衛、静岡県知事奈良原繁、滋賀県

知事中井弘。

○〔三鯉魚場〕。

三陸沖、富士火山列島一帯海、薩州諸島附近。

○三ヶ森（宮城郡荒巻）。

高きが森、崎の森、くす森。

○三観音（別名奥州三観音。田村三観音。坂上田村麿

勸請。藤原相之助撰「木魚音」や「みちのく宮城」を  
みよ。

篋嶽（遠田郡短台村無夷山崑峰寺）。

富山（宮城郡高城小泉村。富山大仰寺）。

牧山（牡鹿郡湊村鷲峰山長全寺）。

○三偽曰人（仙台俳匠遠藤曰人に擬す。郷土史談会報  
2、仙名をみよ）。

大養曰人（仙台立町銀細工師大友養吉、梅関の門人。

号梅館。故に館梅関という）。

城戸曰人（仙台荒町行方屋城戸紀一郎。号萩の屋通  
仙）。

大場曰人（仙台八幡神社々司大場山城の子。逸名）。

○参勤交替行列の三名物（仙台藩。毎S 49 12 5）。

片倉小十郎の糊刷毛槍。茂庭周防の胴白槍。後藤家  
の三角穂朱塗槍。先弘のひげ男なり。

○三組（御鷹匠組150人、罫組3人）。

御不断組（三組133人）。御給主組（三組84人）。御名  
掛組（三組84人）。

○三郡御追放（藩政時代の土罪軽重）。

宮城郡、名取郡、黒川郡。

○三衡（平泉の藤原父子。安井息軒「読書餘適」をみ  
よ）。

藤原清衡、藤原基衡、藤原秀衡。

○〔三駒〕（一名日本三大駒。馬の玩具。毎S 37 5 20。毎  
S 51 7 25「サンデー往来民芸品」）。

木下駒（木皿駒）（仙台木ノ下）。三春駒（福島県三  
春）。八幡駒（青森県八戸市）。

○〔三斎藤〕（明治時代の英学者。「日本経済新聞」S 33  
8 17。新撰大人名辞典）。

斎藤秀三郎（慶応2 1 2生。仙台市堤通5藩重臣斎

藤永頼二男。S 4 11 9卒。64。有名な著書が多い

が就中 Practical English Grammar. Advanced  
English lessons Monograph on Preposition.

Studies in Radical English Works は欧米の学界

で称讃された。正則英語学校創立。1866（1929）。

斎藤恒太郎、斎藤祥三郎。

○三待頭（仙台藩職制）。

御不断頭、御給主頭、御名懸（掛）頭。

○三株八景（八勝の部をみよ）。

○三清水（一名仙台北三清水。三名水）。

鹿子清水（片平丁にあり。政宗公茶湯に用うという）。

山上清水（一名箱清水。八幡町茶屋町にあり）。

柳清水（元櫓町にあり）。

○三株樹（儒者志村氏三兄弟。水沢の人）。

志村実因（号五城。東華。長兄）。

志村時恭（号東嶼。次弟）。

志村弘強（号石溪。蒙庵・菊隱。季弟）。

○〔三集治監〕（明治初期の刑務所。のち北海道にも設置

し四ヶ所となる）。

仙台（施設最備、六方角建築。三千人収容）。東京。

福岡。

○〔三詩友〕（「西白河郡誌」山下仁里碑）。大概盤溪（仙

台）。大島桃牟（加賀）。山下仁里（盤城）。漢詩人

なり。

○〔三女流歌人〕（昭和敗戦前―毎S 57 11 24）。

原阿沙緒（黒川郡大和町宮床出身。M 42歌壇へ立ち

S 44（1969）卒。1961歌碑大年寺山に建つ）。

北条武子（京都、西本願寺法主大谷光尊次女。九条

良致の妻。1887―1928）。

柳原白蓮。

○〔三俊〕（円光大師法然上人源空の弟子―毎S 36 10

30）。

金光（鎮西の人。建保5 3 25津輕西光寺に寂す63）。

長楽寺律師隆寛（安貞1 12 13寂、80。毎は隆光とす）。

聖光（辨長の字。号辨阿。暦仁1 閏2 26寂、77）。

○三所（仙台藩画員佐久間六所の門人）。

小田島椿所。高橋容所。杉沼牛所。

○三城（政宗公所封の家臣封地―河S 34 10 12）。

白石城（片倉氏）、岩出山城（伊達彈正）。金山城（中

島氏、丸森）。

○三井（仙台北藩漢詩人。仙藻3「三人同時善詩」）。

村井竹山（名千年。文久2 4 24卒）。

森井恕仙（名以貫。嘉永4閏42卒。仙藻作嘉永4

75卒、55）。

油井牧山（名元雄。文久142卒）。

○三席（一名三大家。藩主一門五十家の内）（或云御一家。準御一家）。

御一門。御一家。御一族。

○三堰（用水）（一名仙台三堰。綱村公代開鑿）。四ッ

谷堰（仙台廓中及び国分村々用水）。六郷堰（国分

六村の用水）。

七郷堰（宮城・名取の七村の用水）。

○〔三大遺訓〕（日本近代武將の遺訓集）。

伊達政宗。徳川家康。徳川光圀の遺訓。

○〔三大御家騒動〕（徳川時代大名家督騒動——河S33

727）。

仙台伊達家。加賀前田家。福岡黒田家。

○〔三大桜〕（桜の名所——毎S36915）。

仙台榴岡の薄紅彼岸桜。吉野山の山桜。東京小金井の染井吉野桜。

○〔三体积加〕（一名嵯峨三伝の等身积迦。毘首羯磨作。

赤梅檀等身大。「海録」一に「嵯峨の积迦」、屋代弘

賢の「梅檀瑞像考」、田中重久著「日本に遺る印度系

文物の研究」170頁等参照）。

竜宝寺（仙台市八幡町。天永三<sup>(1112)</sup>造像銘出——河S3388）。

清涼寺（京都市嵯峨。永延元87、裔然中国より將來）。

中国、開封。

○三太夫（藩政時代この三人に限り六所神事場へ晴天

十日ずつ操人形芝居興行御免）。

常盤太夫幸右エ門。長門太夫三五兵エ。加賀太夫平

兵エ。

○三大名（仙台城大手前に在った——電）。

白石の片倉家。水沢の留守家。登米の白石家。

○〔三大名〕（一名日本三大名。徳川時代の有力な大名）。

陸前伊達家。加賀前田家。鹿兒島島津家。

○山中七ヶ宿街道三不動（河S34514。3551）

飛不動（白石市小原上台にあり、天正15年伊達政宗

米沢より移建)。 × ×。

○三八幡（神社―河S 30 1 3）。

遠田郡八幡村（田尻町）八幡。栗原郡、× ×

○三羽烏（沢来太郎宮城県会議員の三政客―河S 30 12  
12・33 3 14）。

星廉平。大石倫治。遠藤実。

○三馬場（仙台城下）。

追廻。伊達安芸屋敷前。石川大和屋敷前。

○三方器（玄岡門三才（方）器とも云う。涌谷邑学月

將館督学坂元玄岡の門人）。

斎藤竹堂。小野寺鳳谷。松田蕙斎（名本道。通称司。

別号鳴岡。M 34 4 20卒、76）。

○〔三本山〕（一名日本曹洞三本山）。

正法寺（江刺郡黒石）。永平寺。總持寺。

○三本塚（仙台市六郷二木）。

旭塚（一作朝日塚。朝日長者が黄金と漆を埋めたと  
伝う）。

亀塚（一名亀井塚。前方後円墳）。

鶴塚（赤沼の美女を斬って埋めた故つるぎ塚といい、  
後につる塚となったという）。

○三櫓丁（仙台城下。火見櫓があったという）。

元櫓丁。中櫓丁（元鍛冶町）。定禪寺櫓丁（定禪寺通）。

○三名水（三清水や名水三ヶ所をもみよ）。

松の井（片平丁茂庭家内）。鹿子清水（米ヶ袋）。柳

清水（中櫓丁）。

○三名木（一木三銘をみよ）。

○三元締役（仙台藩職制）。

御塩方、御金山方、山林方。

○〔三陸〕（太平洋岸）。

陸前（大体今の宮城県）。陸中（やく今の岩手県）。陸

奥（ほぼ今の青森県）。

○三渡口（仙武12）。

宮沢渡口。角五郎渡口（慶長初、築仙台城、時以牛

車運送石、渡此所、故云尔）。米ヶ袋渡口。

○三渡戸（<sup>ワタリ</sup>仙台城下を流れる広瀬川の渡場）。牛越渡戸。

米ヶ袋新渡戸。誓願寺渡戸。

○塩釜街道の三名物（河夕 S 36 11 22）。

比丘尼坂の甘酒。案内の湯豆腐。今市のおこし。

○塩釜神社三大祭（河夕 S 37 4 12 毎 S 37 4 17）。火ふせ祭（三月十日。帆手祭）。花まつり（四月二十五日）。海上安全の祭（七月十日、みなと祭）。

○〔詩壇三大家〕（明治中葉の漢詩界）。

国分青崖（仙台）。森槐南（名公泰、字大来。1862～1911）。

本田種竹（阿波徳島の人。名は秀。M 40 9 29 卒、46）。

○宿老三家（仙台藩一番座着坐）。

遠藤家、但木家、後藤家。

○出火相図の鐘三ヶ所（仙台城下）。

北一番丁火見櫓。向山虚空藏。亀岡八幡社。

○城下三難所（一名仙台三難所。広瀬川の難所―仙鹿）。

誓願寺渡。ヘクリ沢（澱橋下流）（河夕 S 34 7 29。34

8 24）。×

○白石の三白（白いもの―毎 S 58 7 26「夏にたべる」）。

生糸、和紙、温麵。

○〔昌平覺の三鰐魚〕（不眠勉強のため目赤し）。斎藤泰

藏（仙台。名は徳一。号は沼村。竹堂の伯兄。天保 5 5 卒、44）。

佐伯順藏（越中の人）。佐藤楚材（尾州人）。

○〔昌平覺の三助講〕（仙藻―和人名数）。

志村東嶼。赤崎海門。頼春水。

○真言三ヶ寺（一名仙台真言三ヶ寺）。

竜宝寺、定禅寺、千手院。

○〔心字池三所〕（心字形の池―河夕 S 29 2 23）。

塩釜雲上寺境内（村井古巖、天明四年塩釜神社祠官

藤塚知明宅に寓し作る。寺は現存、池は滅ぶ）〔仙

台木下準胝観音堂前の池は心字形か？〕。京都。

東京。

○駿足三人（一名仙台藩の健脚三人男―仙名）。

嘉平治法印（仙台柴田町足輕跡部嘉平治。江戸仙台

間を一日で往返す。墓は仙台東九番丁光寿院に在

る―仙名。「郷土の伝承みちのく夜話」上 25 頁）。

三日万藏（西村屋万藏。江戸仙台間を三日で往復す）。

大沼子之吉（仙台おから町（東八）足輕。江戸仙台



間を三日で往復した。

○〔新刀肌の三傑〕（刀工）。

本郷国包（仙台刀匠初代）。東山美平。小笠原昌斎。

○〔世界三大漁場〕。

金華山沖（宮城県）。カムチャッカ沖（一名オホツク

海。千島歯舞沖）。ノルウェー沖。

○〔世界三大魔の海〕（暴風雨時海難）。

三陸沖（日本）。喜望峰沖（南ア）。地中海（欧州）。

○〔全国三模範村長〕（地方自治制施行前）（NHK仙台

62 4 22 ディバック東北）。

長尾四郎右エ門（名取郡生出村長）。 × ×

○仙台閨秀画家三羽鳥（河タ S 34 9 8）。

佐藤多可子。 × ×

○仙台三回向（一名仙台回向三ヶ寺。毎年陰暦四月十

三日から二夜三日、左の天台宗三寺で順番に行う）

清浄光院万日堂（北六番丁）。障り回向といい、また

雨天が続くので、障り回向ともいう。

願行寺（天神下）。常念寺（荒町。晴天が続くので、

照り回向、又はゾウリキラシの回向ともいう）。

○仙台三傑（明治初期の政治家）。

富田鉄之助。鈴木大亮。佐和正。

○仙台三詩人（化政時代の漢詩人。菊地五山所称

——「仙藻」2）。

入江樸庵（名清高）。奥田橘園（名誠美）。松井梅屋

（名元輔）。

○仙台三大騒動。

寛文事変（伊達騒動）。葛西川島事件（安永二年、藩

士三千余人結党。奉行の非を鳴らし、同族伊達藤五

郎これを容れ、奉行中村日向以下を禁錮し藩政乱る。

藩主重村、登米邑主同族村良に裁治せしむ。村良伊

達藤五郎、同数馬を隠居せしめ、首魁葛西三郎河島

三郎兵工以下数人を罪し乱平ぐ。その与党の多き寛

文事変の上に出づという）。 ×。

○仙台三大花火メーカー（河 S 33 8 1）。

芳賀銃砲火薬店（仙台）。佐藤（名取）。若松（古川）。

○仙台三地藏。

朝日地藏（原町東端）。延命地藏（角五郎丁）。×

○仙台三美人（幕末。仙台城下）。

おちよ（伊藤氏）。おもよ（植村民）。おたか（岸氏）。

○仙台三方（才）器（儒者）。

国分平藏（名豊章。通称平。号松嶼。鶴村。佐藤一

斎門人。M 32 6 14 卒、96 歳）。斎藤惟馨（名子徳。号

竹堂。昌平疊出身。嘉永 5 閏 2 11 卒、38 歳）。樋口源

吾（名本寧。号簡（閑）斎。昌平疊出身。文久 3 12

18 卒、66 歳）。

○仙台三文庫（藩政時代、公開図書館の始）。竜宝寺法

宝藏（八幡町竜宝寺。群書、清板大藏経等二万余巻。

明治初散佚、多くは漆山文庫に入るといふ）。青柳館

文庫（仙台城下百騎丁。群書二万巻余）。塩亭文庫（一

名名山藏文庫。塩釜にあり。群書一万余巻）。

○仙台三名園（藩政時代の庭園）。

大内氏庭園。御飼鳥屋敷庭園（土橋通）。

良寛院庭園（仙台良寛院丁。凡そ二千坪）。

○仙台三名物（明治中期。仙台的三奇人）。

とんじ。貞山めっこ（一名伊達めっこ）。べろ。

○仙台設計界の三羽鳥（仙工出身者―河夕 S 33 11 27）。

千田總兵工。熊井保治。横山芳夫。

○仙台三大哲人（大林昭雄「仙台書人伝」―毎 60 12 10）。

小山東助（気仙沼の人。M 12 1 8 8 25）。

内ヶ崎作三郎（黒川郡富谷の人。M 10 1 5 22）。吉野

作造（古川の人。M 11 1 5 8）。

○仙台の三福神（明治時代。毎 S 36 1 1）。

旧制二高の三好校長。仙台市長早川智寛。朴沢松谷

教授。

○善導寺塔頭三院（仙台八塚。寛文六年置。後廢）。

視善。信安。芳樹。

○〔大学入試合格トリオ。高校から官立総合大学への入

試で、一校から一回に 150 人以上の合格者校―河 S 35

3 31）。

仙一高（仙台市。東北大へ）。日比谷高（東京都。東

大へ）。修猷館高（福岡市。九大へ）。

○伊達の三傑（仙台伊達家臣―河S 32 3 10）。

伊達定宗（涌谷）。 × ×。

○伊達藩三鉾山（河S 30 9 3）。

黒森鉾山。 本山銅山。 細倉鉾山（鉛。 細倉千軒といわれた程盛況であった―河S 34 9 12）。

○〔地方の三大新聞〕（仙）。

河北新報（仙台。 M 29 12 創刊。 一力健次郎社長）。 朝

日新聞（大阪）。 毎日新聞（大阪）。

○〔鉄道省の夏の三大輸送〕（上野駅―毎S 36 7 23）。

東北線のお盆。 横須賀線の花。 中央線の花。

○〔天下三柄〕（江戸時代大名）。

国柄は仙台。 家柄は島津。 高柄は加賀。

○〔天下三家老〕（幕藩時代）。

片倉氏（仙台藩唯一の城主。 白石一万八千石）。 × ×

○〔天下三五山〕（臨済宗本山）。

伊達五山（在伊達郡）。 京都五山。 鎌倉五山。

○〔天下三評定〕（江戸時代の裁判官）。

荒井盛従（仙台町奉行）。 大岡越前守忠相（江戸）。 ×

○〔天下三評定所〕（幕府時代の裁判所―電「日本三評所」）。

仙台、江戸、鹿児島。

○〔天下三力士〕（江戸時代）。

初代谷風梶之助（仙台）。 九代横綱秀の山（南部家抱）。

大関猪王山（因州池田家抱）。

○〔東奥三霊地〕（一名東北三霊場―毎S 31 11 4）。

陸前金華山（宮城）。 出羽三山。 南部恐山。

○銅山三区（藩政時代）。

尿前（玉造郡）。 熊沢（同上）。 雙森（刈田郡）。

○〔東北開発三大計画事業〕（M 11最初の政府立案）。

宮城県野蒜築港。 福島県安積疏水。 山形福島両県道

路計画〔前二者は外人設計〕。

○〔東北三阿弥陀堂〕（平安期遺構）。

高藏寺阿弥陀堂（宮城県伊具郡。 治承二年建立と伝

う）。 中尊寺（岩手県）。 白水阿弥陀堂（福島県）。

○〔東北三県令〕（明治初の県知事―河S 30 4 13）。

松平正直（宮城）。 島惟精（岩手）。 三島通庸（山形）。

福島。

○〔東北三古墳〔「奇」。「市民便利帖—せんだいくらしのガイドブック—1986」には、法領塚・南小泉遺跡・遠見塚古墳を東北三大古墳とす〕。

遠見塚古墳（仙台市）。雷神山古墳（名取市）。亀ヶ森古墳（福島県坂下町）。

○〔東北三大荒祭（荒神輿）〕。

塩釜神社（宮城県塩釜市。三月十日帆手祭）。× ×

○〔東北三大祭（夏季）〕。

七夕祭（仙台）。竿灯祭（秋田）。ネブタ祭（弘前）。

○〔東北三大社〕（神社—大法輪五四1—621月号・初詣で）。

宮城県塩釜神社。山形県羽黒神社。青森県岩木（岩鬼）神社。

○東北三俳聖（「江三句集解題」）。

乙二（白石）。曰人（仙台）。江三（大河原。一日庵村井兵治。M3528卒。78歳）。

○〔徳川氏私結婚三家〕（「仙藻」和人名数）。

伊達（仙台）。福島。蜂須賀。

○登米三詩人（登米伊達家の漢詩人）。万里崎船崖。島原攻石。中津川錦秋。

○〔ドレメ系全国三大校〕（洋裁学校）。

仙台ドレスメーカー女学院（仙台市元常盤丁）。× ×

○内科三羽鳥（東北大学医学部内科教授——河S311024—27）。

加藤豊次郎。熊谷岱藏。山川章太郎。

○〔内務三松〕（明治期内務省役人）。

松平正直（宮城県知事）。松方正義・松平正久。

○名取の三観音（往古慈覚大師が名取郡六郷で一木の本、中、末をもって作った観音様）。

根本の観音（在六郷大字日辺。仙台巡礼札所三十番）。中木の観音（在中田大字落合。同三十一番札所）。

末木の観音（在長町根岸。同三十二番札所）。

○南画三大家（一名仙台南画三大家—毎S42829「明治百年」）。

小西皆雲（桃生郡鳴瀬町出身。M42卒、68）。茂庭竹

泉(仙台の人。詩人。T 11卒。90)。山内耕烟(本

吉郡出身。幕末勤王家。M 40卒、68)。

○〔日大三羽鳥〕(日本大学弁論部)。

佐々木更三(本吉郡、社会党)。日野吉夫(桃生郡)。

渡辺惣藏。

○〔日本三景〕(寛永20年刊林春斎撰「日本事蹟考」三

処奇観に初見。三上。読。や。河—S 30 5 14)。

松島(陸前)。嚴島(安芸)。天橋立(丹後)。

○〔日本三景—浦〕。

千賀浦(陸前塩釜)。和歌浦(紀伊)。切渡文殊(丹

後)。

○〔日本三虚空藏〕(別名日本三所の秘仏。三柳津虚空

藏)。

柳津(宮城県本吉郡柳津町。柳津山宝性院。柳津町

はS 29年横山町と合併、津山町となる—朝S 54 4

27「陸前浜をゆく」)。

会津(福島県会津柳津)。柳津(岡山県村松山)。

○〔日本三広邑〕(主都の広大なるをいう—雑上)。

奥州仙台。加州金沢。尾州名古屋。

○〔日本三古碑〕(一名三古碑。三碑。関東三絶—海録

十四・読・広辞苑)。

多賀城碑(宮城県多賀城市。天平宝字六年<sup>762</sup>)。多胡

碑(群馬県多野郡吉井町大字池。和銅四年<sup>711</sup>)片岡、

緑野、甘良中三百戸を割いて多胡郡を置き、その

際多胡碑を立つ)。那須国造碑(栃木県那須郡笠石

神社。700年歿那須国造<sup>イテ</sup>提の頌徳碑)。

また上野の三碑(多胡碑・山上碑・金井沢碑)とい

う。

○〔日本三藏王権現〕(河S 29 12 4)。

花山寺(宮城県栗原郡花山村御堂。藤原秀衡建立)。

金峰山(奈良県)。三仏寺(鳥取県)。

○〔日本三社〕(神社)。

貴船神社(宮城県栗原郡有壁)。×・×・×

○〔日本三清水寺〕(寺院・毎57 3 14宮城版)。現花巻市

清水太田音羽山清水寺。京都、清水寺。兵庫県鴨川

清水寺。

○〔日本三所千貫松〕（桜・船路目標）。

仙台市岩沼千貫松。伊豆駿河境の松。水戸千貫松―源十33）。

○〔日本三善光寺〕（寺院）。

奥州善光寺（宮城県高清水町）。信州善光寺（長野県長野市）。武州善光寺（埼玉県川口市）（わが町自慢ベスト展）は武州を甲州とす）。

○〔日本三叢林〕（一名禪門三叢林―仙。河S30620）。

大年寺（仙台）。東光寺（萩）。興祥寺（鳥取県）。

○〔日本三大稻荷〕（神社―毎S36325）。

竹駒神社（宮城県岩沼）。豊川稻荷（静岡県豊川―高橋定坦「豊川の托枳尼天」）。

運輸省「観光資源要覧」五参照。（「竹駒神社志」は豊川稻荷の代りに京都伏見稻荷を入れる）。笠間稻荷（茨城県笠間市）。

○〔日本三大胃腸病泉〕（一名全国三大湯―毎S601015

「ふるさと」の四季）。

峨々温泉（宮城―「みやぎ県政だより」57号S4912

1）。× ×

○〔日本三大押領使〕（古代地方官）。

陸前押領使（藤原氏）。伊豆押領使（伊藤氏受職初）。肥後押領使（菊地氏）。

○〔日本三大オルガン〕（パイプオルガン装置―毎S34124）。

東北学院大（仙台）。芸術大（東京上野）。三越本社（東京日本橋）。

○〔日本三大外人避暑地〕。

宮城県高山（九十九年租借。S38年は九十五年めという）。× ×

○〔日本三大川開〕（川開に花火大会あり）。

北上川（石巻市）。信濃川（新潟県）。長良川（岐阜県）。

○〔日本三大祇園社〕（河夕S351226）。

祇園八坂神社（古川市。桓武帝延暦236。坂上田村麿建立）。京都。×

○〔日本三大強風地〕（寒風強き地方）。

宮城県鳴子。滋賀県粟津。×

○〔日本三大漁港〕（2説あり）。

宮城塩釜港。静岡焼津港。三崎港——「新日本大観」

（S 34 刊）。

大阪港。神戸港。横浜港——「大阪」——大阪府 S 33。

○〔日本三大漁場〕。

金華山沖（宮城）。三陸沖。×

○〔日本三大草相撲〕（毎 S 52 9 10）。

宮城県玉造郡鳴子町温泉神社奉納相撲（文治五（1183）、源

頼朝平泉追討の戦勝祈願に始る。S 37 中止、S 51

復活）。

東京（浅草）、九州（明烏）

○〔日本三大溪〕。

嵯峨溪（宮城県松島）。敵美溪（岩手県）。耶馬溪（大

分県）。

○〔日本三大駒〕（玩具）

仙台木下駒。南部忍駒。九州八幡駒。

○〔日本三大庫裡〕（禅宗寺院建築——毎 S 31 2 19）。

宮城県松島瑞巖寺。京都大徳寺。京都妙法院。

○〔日本三大ザオ〕（釣師の友ザオ）。

仙台の友（鮎）。関東のハゼ（溪流）。関西のヘラ。

○〔日本三大不動尊〕（河 S 33 8 10）。

横山不動尊（宮城県本吉郡津山町横山字本町三。別

当大徳寺。高麗国から着岸という）。成田不動尊（千

葉県成田）。菅谷不動尊（新潟県）（一に福島県中

野不動尊をあぐ。但し、残り二者をいわず）。

○〔日本三大水揚港〕（漁業）。

塩釜港（宮城）。下関港（山口）。長崎港（長崎）。

○〔日本三大名瀑〕（滝）。

秋保大滝（宮城）。華厳の滝（日光）。那智の滝（和

歌山）。

○〔日本三達磨〕（達磨大師赤衣の木像）。

瑞巖寺（宮城県松島）。片岡（和歌山県）。八幡（京

都市）。

○〔日本三辻〕（蛇の目の辻で行う豆角力——毎 S 37 9

2、朝同上）。

仙台角辻。長野県小諸市八幡神社。同県長門寺町高

辻。

○〔日本三大名菓〕〔九重の由来〕。

九重（仙台玉沢製）。× ×

○〔日本三如来〕（仏教）。

定義如来（宮城県宮城郡定義）。

× ×

○〔日本三御湯〕（温泉。上古より有名。天皇等御入湯

の伝あり。や）。

名取湯（宮城県名取郡秋保。藩主入湯）。

播磨湯。道後湯。

○〔日本三弥勒寺〕（寺院。「五城農友」S 31 8。毎S 36

4 12。毎S 57 5 31「宮城の名利」（一名三弥勒寺）。

弥勒寺（宮城県登米郡上沼村。文武帝頃創建。弘仁

中、弘法大師巡錫再興、寛永中

通寿快弁僧都再建、往時は奥州高野山と称せられた。

真言宗）。

弥勒寺（相模国上秦野。建久3、源頼朝夫人出産を

祈願す）。弥勒寺（羽前最上川）。（「みやぎ県政だ

より」120—S 55 3 1「宮城県中田村、空海作。県

重要文化財」）。

○〔日本三名園〕（庭園）。

有備館庭園（宮城県岩出山町）。御薬園（福島県会津

若松市徒町。会津七代藩主芦名直盛造園）。×

○〔日本三名城〕（古河古松軒。「圣世体要」—城邑）。

宮城仙台城。大坂大坂城。熊本熊本城。

○〔日本三山寺〕（寺院）。

洞雲寺（宮城県七北田村。一名砂山寺）。立石寺（山

形県山寺。一名岩山寺）。

石山寺（滋賀県琵琶湖畔）。

○〔日本松島三景〕（姉妹公園—河夕S 36 6 29・や）。

宮城県松島。熊本県松島（天草松島）。長崎県佐世保

市外九十九松島。

○能太夫三家（仙台藩能楽）。

小野家。桜井家。佐藤家。

○話を引き出す三人三羽鳥（東北大学白菊会報12



—[60・3]—

故一力次郎河北新報社会長。故小林軍太郎秋保電鉄社長。故半沢正二郎。

○花山三湯（温泉—河S 37 5 14）。

湯の倉。湯浜（以上一迫川沿）。駒の湯（三迫川沿）。

○平泉三大藏經（一切經。平泉中尊寺藏）。

紺紙金銀交書一切經（藤原清衡奉納。4300卷中現存15卷。經宮275箇）。

紺紙金字一切經（藤原基衡奉納。宋板を本とす）。

紺紙金字千部一切經（安元2、藤原秀衡奉納）。

○船着湊三（仙台藩。公）。

牡鹿郡石巻。名取郡閑上。亘理郡荒浜。

○蛇田三俳人（大湊三千風時代）。

谷水、柳也、残雪。

○〔碧門三羽鳥〕（俳諧。村山古郷「大須賀乙字伝」S 40刊）。

大須賀乙字（旧制二高教授大須賀筠軒の子）。小沢碧童。喜谷六花。

○方外三筆（明治初期書僧）。

医王寺螺山（遠田郡北浦修驗和光院医王寺永仙。豊

田氏。俳人。M 18 3 7 卒、70）。

瑞巖寺北山（真壁太陽。M 20 4 18 卒、79）。大年（念

寺弗云（M 7 7 5 寂、78）。

○封内三大沼。

品井沼（一名麗颯池。遠田郡。開拓数度）。広淵沼（桃生郡）。伊豆沼（一名畑岡沼。栗厚郡。白鳥飛来で有名）。

名）。

○松島三大貝塚（河S 34 7 16）。

磯崎西ノ浜貝塚。× ×

○水沢三偉人（仙台藩士。幕末明治）。

高野長英。後藤新平。斎藤實。

○水沢三秀才（仙台藩—河S 30 10 11）。

山崎爲徳（安政4生、M 14 卒、26）。後藤新平（S 4 卒、73）。斎藤実（S 11 卒、78）。

○〔源頼朝の三名馬〕（生啖磨墨は東北産、藤原氏から頼朝に贈る）。

生唆（又作生食・生月・池月・生属。栗原郡産）。磨

墨。若白毛。

○宮城県三秀才（河S3181）。

小山鼎助（号鼎浦）。内ヶ崎作三郎。吉野作造。

○宮城県三大漁港（「世界文化史大系」2）。

気仙沼港。塩釜港。石巻港。

○宮城県三大銀行（仙台市所在。S6七十七銀行と合

併）。

七十七銀行。東北実業銀行。宮城貯蓄銀行。

○宮城県三大事業（森正隆知事時代。大正中—河タS

341012）。

電気事業。× ×

○宮城県の三大甚句（「わがまち自慢ベスト展」）。

嵯峨立甚句、「塩金甚句」、「松島甚句」。

○宮城県三大花火大会（仕掛花火。毎年八月）。

石巻川開。仙台広瀬川。大河原白石川。

○宮城三郷（中世・宮城郡—「郡郷考」）。

宮城。国分。高城。

○「三宅尚斎門の三傑」（儒者）。

石王蹇軒。井沢灌園。久米訂斎。

○「明治詩壇三大家」（詩壇三大家をみよ）。

○「明治の三風」（文学者）。

登張竹風（名信一郎。旧制二高教授。1873〜1954）。姉崎

嘲風（名正治。1873〜1949）。笹川臨風（名種郎。1870〜1949）。

○山の寺三勝（宮城県七北田村洞雲寺三景）。

観音洞。天狗相撲場。不老峰。

○山伏三司（仙台藩修験總取締。慶長13後）。

宗咩院（伊具郡館矢間）。東光院（以上仙台城下。南

方支配）。良寛院（同上。北方支配）。

○立生館三秀才（仙台藩水沢郷校の末期—河S4112

6）。

後藤新平（慶応3、12歳入学）。斎藤実（M2入学）。

山崎爲徳（求道者。26歳卒）。

○「わが国三大高工」（毎S611028毎611216宮城版）。

仙台高等工業学校—M39創立、仙台市。名古屋高等

工業学校。熊本高等工業学校。

四

○〔会津四家〕(嘗て会津を領有した武家。向井吉重「会津四家合考」12巻。「嘉良喜隨筆」1)。

伊達、葦名、蒲生、上杉。

○磐井川四滝。

京田滝(高一丈広三間)。下多羅滝(高二丈余、広三間余)。小松滝(高八尺、広二間余)。大滝(高一丈、広三間余)。

○塩松四大観(船山万年「松島塩釜四大観」)。

多聞山美観(南方)。富(春)山麗観(北方)。扇溪幽観(西方)。大鷹(高)森壯観(東方)。

○大内四天王(登米郡西郡大内家。「西郡(錦織村)聞老雜記」)。

火煙(遣)。鬼擾。剛野。雛草。

○大崎氏四家老(中世)。

畠山。吉良。石橋。石堂。(後に仁木、里見、澁谷、中目)。

○〔奥羽俳諧四天王〕(化政時代)。

松窓乙二(宮城白石)。吉川五明(秋田)。常世田長翠(酒田本荘)。小野素郷(盛岡)。

○大槻盤溪混々社中四才子(操觚家)。

大條翠羽。竹田東溟。梅村溪南。青山大太郎。

○大番組詰所四間(仙台青葉城内)。

虎間、中間、次間、広間。

○王門四哲(儒者富田王屋門人)。

高成田琴台。南條鼎湖。阿部岳陽。大友直寛。

○奥四ヶ寺(駿河国富士郡日蓮宗大石寺二世日目開山の四寺。一名奥州大石派四聖地。日目は登米郡宝江村城主新田重綱の男)。

本源寺(登米郡新井田)。上行寺(同郡森村)。妙円寺(栗原郡宮野村)。妙教寺(同郡一迫村柳ノ目)。

○奥四ヶ浜(一名気仙四ヶ浜)。

室浜。里浜。月浜。大浜(「陸奥郡郷考」は綾里、越喜来、吉浜。唐丹とす)。

○〔奥四道〕。

蘇縫、斯波、磐手、高野。

○〔開拓使四天王〕（明治初期北海道）。

鈴木大亮（宮城県涌谷人）。時任爲基。湯地定基。税所広丈。

○神楽四ヶ所（仙台藩）。

大崎八幡（遠八幡）。亀岡八幡（以上仙台）。名取郡高館熊野堂。笠島村道祖神社（名取郡愛島、笠島神楽）。

○刈田四郡（古代の刈田郡）。

篤（厚）檉（越河・斎川・大平）。葛（刈）田（福島・宮・円田）。三田（七ヶ宿・小原）。坂田（白石・白川・大鷹沢）。

○銀山四区（仙台藩）。

栗原郡細倉。加美郡宮崎村松沢（本林家所藏文書に「文化二年十月三日より松沢御銀山に金屋致候付諸式留」がある。従業者多く松沢千軒といわれ、島原という観楽街も生じたという―河S 30 5 26）。関山（刈田郡）。黒森（同上）。

○河内四頭（文治五年源頼朝平泉討伐の後、河内五郡一保を四家に賜う）。

泉田、渋谷、上杉、狩野。

○黒川四社（黒川郡内神社）。

須岐神社。山精神社。行の神社。天足別神社。

○佐沼四邑（登米郡佐沼―毎S 31 7 23）。

新田、藤沢、南方、北方。

○四安仁（巖井郡の俳匠高橋東阜の門人）。

大屋土由（登米郡猪河原人。嘉永3 12 5卒、63）。首藤知允。首藤伯通（登米郡米川村（猪河原）人、文化14卒）。後藤俊実（米谷邑主高泉氏臣。文化15 4 6卒、79）。

○四家着坐（仙台藩着坐格27家の内、300石以上の家柄）。

古内、古内、佐々、黒沢。

○四穀町（仙台城下で五穀の相場の立った町）。立町、二日町（以上北方）。穀町（南方）。新伝馬町（中央）。○〔四裁判所〕（明治八年頃の裁判制度）。

仙台、東京、大阪、長崎。

○四色小役（藩政時代の小役。石高に対して賦課徴収する雑税―「仙台藩租税要略」）。

詰夫。入草。夫馬。垣結（宇和島伊達藩の四色小物成は真綿、麻苧、漆、漆実）。

○四舍長（一関藩学伝習学校）。

宮沢他吉。千早東山。中沢敬哉。小山豹藏。

○四城（仙台で城といえば仙台城と白石城との説がある）。

仙台城（本丸―東西130間。南北47間。従屋地高32間。

二ノ丸―東西120間、南北110間。従本丸低27間）。

若林城（仙台南小泉にある。寛永四年築城。今古城という―現在は宮城刑務所）。

白石城（昔は上杉氏属城。慶長七年、政宗公片倉景綱に命じて守らす）。

本丸―東西63間。南北47間。自町屋地高11間。

岩（磐）手山城（往昔大崎氏臣氏家彈正の居城）。

○四大橋（仙台中、広瀬川にかかる）。

澱橋、大工橋、大橋、評定橋。

○〔四大幹線〕（鉄道―「日本案内記東北篇」）。

東北本線（東京青森間740杆）。奥羽本線（福島青森間）。

羽越本線（新津秋田間、270杆）。常磐線（上野岩沼間340杆）。

○四大証券（在仙の証券会社）。

日興、山一、大和、野村。

○四伝馬町（仙台下。『ついたちは国分町に十二材、二十日北目に廿六新』という継立の日を読み込んだ歌がある）。

国分町は国分氏領有当時から町で「こっぼんまち」と呼んで、伊達氏時代になり、芭蕉の辻から北へ東側十軒、西側九軒の商店ができ、これを十九軒町といい、商業が盛であった―河S 36 5 10）。

国分町―毎月一日から十一日まで。人馬継立。

材木町―毎月十二日から十九日まで。人馬継立。

北目町―毎月廿日から廿五日まで。人馬継立。

伝馬町―毎月廿六日から卅日まで。人馬継立。

なお仙台的馬市は「毎年三月上旬から四月中旬ま

で。仙台芭蕉ノ辻から国分町上、中、下町と三段に分つて一日がかりに馬市の行事をつとむ。市はじまつて五七日は、江府馬寮より官使来りて、御物を撰ぶ。其次は国主の乗馬小荷駄を撰ぶ。其後は朝五ツより暮七ツ時を限りて売買者あり、馬主馬を引き来れば、買主これを見て、仲買にたのみて其価を定むるなり。仲買馬を打擲してその値の高下を定め売買す「日本山海名物図会」五―寛政七刊」。

○四辟（仙台藩の刑罰（肉刑）「文九<sup>3187</sup>丹野茂録書」）。宮辟。荆辟。劓辟（専ら金掘者の山法、虚無僧の宗法）。墨辟（腕又は額へ焼印を押す）。

○神名帳四座（宮城郡式内社）。

伊豆佐売神社（菅谷）。志波彦神社（岩切）。鼻節神社（塩釜花刈）。多賀神社（西多賀）。

○仙台四大画家（仙台藩）。

東東洋。菊田伊洲。小池曲江。管井梅閑（「仙藻<sup>3</sup>。河S3658「河北春秋」）。

○〔漱石門下四天王〕（夏目漱石門下）。

阿部次郎（故東北大学教授。仙台市名誉市民。1883

～1959）。安部能成（1883～1966）。小宮豊隆（故東北大学

教授。1884～1966）。寺田寅彦（筆名吉村冬彦。1878～1935）。

○曹洞宗祿所四ヶ寺（一名奥四大寺・仙台藩曹洞四ヶ

寺・仙台藩曹洞四ヶ録司・仙台檀林四箇寺。在仙台城下）。

輪王寺。松音寺。泰心院（泰もと台と書く。怠の字と誤り易いので泰に改むという）。昌伝庵。

○代参四ヶ寺（湯殿山へ年々順番に代参を勤めた寺院。仙台城下にあり）。

宝光院。誓願寺。薬本寺。光円寺。

○伊達家四菓子司（藩の菓子製造所——河S3349）。

明石（名菓塩瀬饅頭）。玉沢（名菓九重）。×

○伊達藩四大建白（一名仙台藩四大建白。M44田辺念秋編）。

伊達藩邦建白。岡千仞建白。田村顕允建白。額兵隊建白。

○伊達藩四天王（武將——河S 34 10 12）。

榊原康政。× × ×

○〔朝門四天王〕（儒者朝川善庵門人——仙名）。高橋巴山

（仙台。M 4 11 24 卒、76）。片山紹堂。山本緑陰。×

○天台宗四ヶ寺（仙台城下——每S 60 9）。

地曜山延命院光円寺（東叡山末。慶長中開山寛永法

印）。満願寺。安楽寺廢寺。誓願寺廢寺。

○唐船見張番所四所（仙台藩海岸防備のため設置。唐

船番所五所参照）。

磯浜亘理郡。鮎川浜牡鹿郡。歌津浜本吉郡。綾里浜気仙郡。

○〔東北四大饑饉〕。

宝曆五。天明七。天保四。明治38年を中心とする凶

作。

○〔東北力士四出身地〕（江戸中期頃。後には江戸に合

流す）。

仙台、南部、津軽、秋田。

○〔日本四景〕（景勝地——貝原益軒「日本の四景帖」）。

宮城松島。奈良吉野。広島嚴島。島根天橋立。

○馬事方四家（仙台藩畜産方——宮10）。

高倉、四釜、中村、中目。

○木門四傑（仙台藩儒遊佐木斎門人）。

国分悔愆。佐久間洞巖。菅原南山。高橋玉斎。

○松島四山（名勝。宮城県松島）。

多聞山。× × ×

○松島四島（松島湾内浦戸にあり）。

桂島。野々島。寒風沢。朴島（四島中最暖、タブの

巨木生地）。

○宮城県四大スキー場。

青根、藏王、鳴子、八森。

○室戸四ヶ浜（桃生郡深谷）。

室浜、黒浜、月浜、大浜。

○四ッ仲間（仙台城下の商人組合。安永年間組織）。

古手フルテ。繰綿。小間物。葉種。

○流人四島（仙台藩の流罪軽重）。

田代島（牡鹿郡。仙台から海陸21里34丁）。

長渡島（牡鹿郡。仙台から海陸3里10丁）。

網代島（牡鹿郡）。以上三島を前島という。

江ノ島（牡鹿郡。仙台から2里30丁。遠島ともいう。

「遠島甚句原流考」によると遠島は島でない。回穀改

所三十七。河S 34 10 13）。

○〔柳門四傑〕（柳生流剣術柳生但馬守宗矩門人）。

狭川助直（仙台藩士）。× × ×

## 五

○秋保五ヶ村（名取郡。秋保家領）。

新川、馬場、長袋、境野、湯本。

○〔奥羽五庄〕（中世における奥羽の庄園）。

高鞍庄（宮城県栗原郡金成町附近）。

本良庄（同県本吉郡中央部。藤原秀衡の四男本吉冠

者高衡の館、本吉館趾が志津川にある）（以上陸

奥）。大曾根庄（八代氏「庄園目録」に木曾禰庄と

ある）。屋代庄。遊佐庄（以上出羽）。

○大崎五郡（一名河内五郡。大崎直持栗原郡小野に住

し、後、加美郡中新田に住す。30万石）。

加美、玉造、志田、遠田、栗原。

○大崎御所五ヶ所（大崎氏居館）。

大崎御所黒。小野御所栗。名生御所玉。新田御所上。中

新田御所上。

○大崎五城（大崎五郡中の古城）。

百々鶴城遠田郡河辺村。名生城古川市東大崎。下草城。

宮沢（崎）城。涌谷城。

○小田郡五郷（後の遠田郡の五郷）。

小田。牛甘。石毛未詳。賀美。餘戸未詳。

○刈田山中五ヶ村（刈田郡）。

湯原、滑津、関、渡瀬、小原。

○北山五山（仙台北山にある臨済宗寺院）。

東昌寺。光明寺。覚範寺。資福寺。満勝寺。

○近門五箇院（石巻の曹洞宗梅溪寺の子院）。

竜洞院。金藏寺。宮殿寺。長谷寺。松岩寺。

○栗駒五湯（栗原郡花山村の温泉―「新ポケット温泉案

内」）。



温湯、湯ノ倉、湯ノ浜、駒ノ湯、新駒ノ湯。

○五改所（仙台城下の五ヶ処の税関）。

此処で入市諸品に10分の4の税を課した。これを爲間銭（スアイセン）と称し、その番所を御仲下改所（オスアイドコロ）（爲間所）と称した―電。仙台市史1。河S3265）。

五軒茶屋方南。八幡堂方西。堤町・北山方北。原町方東。

○〔五街道〕（交通。読。岩井良衛編「五街道細見」S34刊）。

奥州街道（一名奥州道中。江戸から白河までは他の四街道と同じく道中奉行支配。白河以北は勘定奉行支配。其後三厩まで延長したと見える。仙台以北は奥街道という）。

東海道。甲州道中（甲州街道）。中仙道（木曾街道）。日光街道（日光道中）。

○〔五軍団〕（奈良時代の陸奥鎮所）。

丹取陸前。玉造宮城。白河。行方。安積。

○〔五穴の弁天〕（「譚海」11―弁天様の祭地）。

奥州金華山。相州江島。駿州富士ノ洞。江州竹生島。芸州巖島。

○五軒茶屋（仙台城下丁切根（チョウギンネ）と長町橋との間にあり。上方江戸へ旅立つ者の別盃をし、また参勤交代に藩主の朝食（赤壁楼で）した処。

観水楼。対橋楼。赤壁楼。香菊楼（電作菊六）。お百茶屋。（後には対橋楼、観水楼、金久、お百茶屋、鬼〔室〕）。

○五柵（天平五柵。蝦夷鎮定のため陸奥に柵を設置。統紀12に玉造等五柵云々と見える。天平九年藤原暦の奏により、玉造。新田（遠田郡田尻町八幡を中心とす―高橋富雄「蝦夷」）。牡鹿。色麻（加美郡中新田町の城生遺跡かという）。中山（桃生―須江村佳景山）（桃生は本吉郡柳津町茶臼山桃生城ともいう―毎S30414）をおくともいう。

多賀陸前。玉造栗崎。新田登米。石巻牡鹿。色麻美加。玉作城（780）、玉造塞（789―837）、多賀城（780後）と見え、玉造等五柵は天平九（737）初見。以下四柵は未詳―高橋崇「蝦

夷」(S 615 25刊)。

○五荘(中世陸奥の荘園)。

姫松荘(栗原郡一迫姫松村)。尾松荘(同郡二迫)。高

松荘(同郡三迫)。葛西荘(桃生郡小野村)。諏訪荘

(本吉郡唐桑村)。

○〔五大商業学校—第一次世界大戰前の全国商業学校

—河 S 33 11 14)。

仙台市立商業学校(M 29 7 創立)。函館。新潟。下関。

長崎。

○〔五大工務店〕(土建業)。

竹内工務店<sub>台仙</sub>。・ ・ ・

○〔五弁天〕(大法輪五〇8—S 58 8 1号。五穴弁天参

照)。

陸前金華山。安芸巖島。大和天の川。近江竹生島。相

州江島。

○藏王五湯(藏王山を中心とする温泉—毎S 41 6 7)。

小原。鎌先。遠刈田。青根。峨々。

○〔全国五阿弥陀堂〕(平安時代建立—河 S 33 4 9)。

<sub>平</sub>泉中尊寺金色堂。<sub>市内郷</sub>白水阿弥陀堂(黄金比例の黄金

尺—唐尺は正しい格調の建築物)。<sub>宇治山</sub>平等院。城法海

寺。<sub>分大</sub>富新寺。

○〔全国五ヶ所官寺〕(古代の官立寺院—河 S 34 7 21)。

陸奥国分寺<sub>仙台市木下</sub>。・ ・ ・

○〔全国相撲五場所〕(徳川時代)。

仙台、堺、大坂、江戸、×

○仙台五文庫(藩政時代—旧)。

藩主文庫。養賢堂文庫。竜宝寺文庫。名山藏文庫。青

柳館文庫。

○仙台市五大事業(遠藤庸治市長時代—河 S 33 1 28)。

水力電気。電気鉄道。市区改正。上下水道。公園。

○仙台城下五ヶ村(藩政時代)。

荒巻、小田原、南田、小泉、根岸。

○仙台城下相撲五ヶ所(藩指定の相撲興行地)。

(御紳事場。相撲の番付が出版された)。荒町満願寺

(一番多く行われた)。釈迦堂。木ノ下。東照宮。×

○仙台辻番所五区(仙台城下警察)。

河内（大下馬、松木番所、外繫、追廻、扇坂、同外繫、御裏下馬、御米藏、御二丸破損会所、花壇、御炭藏、御裏御門通、同外繫、千貫橋、中ノ坂、龜岡通、元支倉筋違橋、御塩噌藏、澱橋通、二拾人町、山屋敷）。

大橋外南方（吹貫御門、御塗師藏、御家具藏、御看藏、御躑躅藏、日影町、評定所、琵琶首、旧堂形、旧御花壇、中河原、御靈屋町、鹿落、御路地町）。

大橋外北方（吹貫御門、元御絵図所、御紙藏、中町、御作事方会所、御人足方会所、大工橋、中瀬、大名小路、支倉、新坂、澱橋、角五郎、切通し、中島丁、十二軒丁、五十人町、牛越渡戸、賢淵）。

大手前大町通南方（片平丁、藤ヶ崎、良寛院丁、本荒町、袋町、狐小路、道場小路、七軒丁、鉄砲丁、桜小路、三十三間堂、米ヶ袋、花淵河原、松源寺淵、元御頼所、六軒丁、猿牽丁、土樋、石垣町、石名坂、六郷堰、七郷堰、誓願寺渡戸、若林御米藏、東一番丁より十番丁迄、塩藏丁、末無丁、糠倉丁、

百騎丁、南町通。柳町通、野干小路、六道辻、清水小路、五橋、谷地小路、大河原町、御名掛丁、細横丁、二十人町、躑躅岡、材木藏、天神下、八塚、木下、元茶島、東海道、連坊小路、片平丁、柴田町、成田町、三百人町、五十人町、六十人町、保春院前、空虚木）。

大町通北方（本櫓丁、中櫓丁、北櫓丁、元柳町、跡付丁、木町通、北二番丁より十番丁まで、支倉通、新坂通、土橋通、坊主町、石切町、御飼鳥屋敷、郷田町、半子町、御烟硝藏、瓦焼場、北山、神子町、光明寺堤、鹿島崎堤、堤通、北田町、木槌町、上杉山通、中杉山通、光禅寺通、二本杉通、杉山通、新日形丁、畳丁、勾当台、新馬場、火見櫓、立町通、同心町、外記丁、定禅寺通、元貞坂、本龜岡、大仏前、元寺小路、長丁、長刀丁、空堀丁、掃部丁、花京院通、新名掛丁、御旅宮、車地藏、茂市坂、小田原、山本丁、蜂屋敷、長丁通、金剛院丁、大行院丁、広丁、清水沼通、元中小屋、新弓町、鉄

砲町)。

○伊達五山(臨濟宗寺院。伊達氏伊達郡在城の際、東福寺正覚庵仏智禪師を招じ開山とす。釈義堂「空華集」九に「送玉海音侍者帰奥州東昌省本師韶陽」がみえる。東昌は東昌寺をいうか)。

東昌寺。光明寺。満勝寺。観音寺。光福寺。

○唐船番所五所(正保三年幕命により藩内海岸に遠見番所を設け、慶安元年に海岸お備方を組織す―河S 29 10 29)。

石浜(気仙郡綾里村。綾里公作八之森)。

泊浜(本吉郡歌津村―浜公作崎)。鮎川(牡鹿郡鮎川村)。

大浜(桃生郡宮戸村。河S 29 10 29作桃生郡大須。片倉家受持)。

磯浜(亘理郡坂本村)。

○(日本五大バルブ―河S 29 12 4)。

東北バルブ(石巻)。×

○(日本五日<sup>ヒコリ</sup>和山)(眺望佳絶の所)。

宮城石巻日和山。新潟日和山。三鳥羽日和山。兵庫城崎日和山。〔山形酒田日和山〕。

○〔文化五藏〕(文化年代儒者。みな字に藏がつく)。

葛西善藏(陸前<sup>号因是</sup>人文政6 4 6卒60)。林熊藏(号述<sup>斎</sup>1768

1841)。平井直藏(所<sup>号澹</sup>)。松崎退藏(堂<sup>号儼</sup>1771)1844)。佐

藤捨藏(斎<sup>号</sup>1772)1859)。

○宮城県五大篤農家(NHKS 34 9 3)。

渡辺良作<sup>仙台北市富沢</sup>・・・

○陸前五郡。

牡鹿、桃生、登米、本吉、気仙。

○〔林門五藏〕(儒者林述斎門人。文化五藏参照)。

葛西善藏。平井直藏。松崎退藏。大郷金藏。佐藤捨

藏。

## 六

○蝦夷地御領六所(仙台伊達氏入植地、伊達郡、幕末)。

白老、戸勝、厚岸、根室、国後、擇捉。

○〔奥六郡〕(幕府時代仙台藩領。現在は岩手県に属す)。

膽(伊)沢。和賀。江刺。稗拔(貫)。志波。盤(岩)手。

○米ヶ袋六丁（仙台城下。古名千体原）。

御鷹部屋丁。中丁。十二軒丁。広丁、下丁。川前丁。

○塩釜六所明神（塩釜神社）。

猿田彦。事勝国勝。塩土翁。岐神。興玉神。大田神

（祀之別宮、団体異名）。

○新御譜代町六丁（伊達氏に従って米沢から来た仙台城下の商人町）。

大町。肴町。南町。立町。柳町。荒町。

○仙台歌道六宗匠（和歌。江戸末期）。

佐藤直翁、浦江一知、遠藤信道、芳賀真咲、落合直

亮、鴨原行雄。

○名取六郷（古代名取郡の六郷―毎S 30 11 16）。

玉前郷（千貫・岩沼・玉浦）。指賀郷（愛島・館腰）。

井上郷（高館）。駅家郷（中田）。盤城郷（生出。秋

保）。名取郷（西多賀・長町）。

○宮城県六大工事（松平正直知事時代―河S 33 2 3）。

貞山運河。野蒜築港。鳴瀬川改修。迫川改修。江合

川改修。

○〔六玉川〕（歌名所。玉川とは清き流れの川の意―奥。

読。雑上に城州井堤里、摂州茨木ノ東、紀州高野山

奥院道、近江野路里、武州池上ノ水、奥州野田ノ里

とある）。陸奥玉川（一名野田玉川。陸前宮城郡。

夕されば汐風ふきて陸奥の、野田の玉川千鳥なく

なり―能因法師。

玉川やむつとおつほく大千鳥―藤谷・貞楽「俳諧

たび枕」中。

山城玉川（一名井出玉川）。

駒とめて猶水かれん山吹の、花のちりそふ井出の

玉川。

近江玉川（一名野路玉川）。

あさも来ん野路の玉川萩こえて、かけなる浪に月

やどるらん。

武藏玉川（一名調布玉川）（国木田独歩『武藏野七』に武藏多摩川あり）。玉川

にさらす調布のさらさらに、むかしの人の恋し

きやなそ。

紀伊玉川（一名高野玉川）。

忘れても汲みやしつらん旅人の高野のおくの玉川の水

摂津玉川（一名擣衣玉川）。

玉川と声にききしは卯の花の、露のかさなる名にこそありけれ。

○米沢六町（伊達氏支配時代の米沢城下町。これが伊達氏と共に仙台に移り、新御譜代町六町となる。新御譜代町六丁参照）。

南町、東町、「土町」、柳町、立町、新町。

○六ヶ所神事場（仙台城下の神社祭事。祭日の角力、芝居、小見世物興行御免）。

白山宮（木下。祭日三月三日）。釈迦堂（榴ヶ岡。祭日四月八日）。天神社（榴ヶ岡、祭日六月二十五日）。毘沙門天（荒町。祭日六月一日）。八幡宮（大崎、祭日八月十五日）。東照宮（宮町。祭日九月十七日）。

○六坂（仙台城下の阪道）。

大坂。扇坂。新坂。石名坂。元貞坂。茂市ヶ坂。

○六地藏（もと清水小路ガード下の道の六道に分れる処にあった六体の地藏尊。今は東九番丁竜川院に移る（目で見る仙台の歴史））。

○「六大都市」（NHKS 36・・・）。

仙台市・・・

○六仲間（一名六種商売。仙台城下の六業種の組合）。

呉服。太物。線綿。古手。薬種。小間物。

## 七

○荒井七郷（名取郡）。

荒浜<sup>沼</sup>。霞目。長喜城。小泉。蒲町。伊佐。八丁目。

○奥州仙台七福神（毎S 60 6 21）。

荒町満福寺・・・

○「奥羽七処」（寺院。観音安置）。

勝大寺・・・

○峨々七景（峨々温泉近傍の勝景）。

夫婦岩。河鹿の瀬。小鼓の滝。満天星平（ドウダンタイラ）。不忘橋。屏風が岩。湯守権現。

○葛西七郡(中世葛西清重軍功により封ぜられた地。葛西30万石又は35万石という。一書に膽沢を桃生に作る)。

膽沢、磐井、牡鹿、江刺、本吉、登米、気仙。

○葛西七党(葛西氏臣)。

千葉安房広朝・・・

○片平丁七不思議(仙台城下—電195頁)。

鎗隠し坂。末無し松。一本木の長屋。七葺下げの土塀。百枚橋。底無し井戸。松の井屋敷二丁目横丁の清水。

○刈田七ヶ宿(一名山中七ヶ宿。山中通関村・山中通湯原村・刈田郡七ヶ宿村。出羽の大名等の参勤交替の街道。宿場)。

湯原。峠田。滑津。関。渡瀬。上戸沢。下戸沢。

○北村の七田、七崎、八沢(遠田郡河南町北村の谷間水田と堤—「河南町誌」)。

七田—千刈田<sup>カ</sup>。久目田。高田。猿。草田。沢田。下田。

七崎—松ヶ崎。小崎。瀬田崎。砂崎。天神崎。馬場崎。幕ヶ崎。

八沢—盗人沢。大沢。太田沢。青木沢。金草沢。長沢。中ノ沢。軽井沢。

○栗原郡七座(式内社。大一小<sup>六</sup>)。

遠流志別石(オルシワケ)神社(一名石神社。社裏

に巨石あり。其村を大石小石村と称したが、後に

石越村と改む—毎S30712)。表刀(イウト)神社。

志波姫神社。<sup>(名神)</sup>雄鋭(オトノ)神社。駒形神

社。和我神社。香取御兒神社。

○郡中七村落(俗称登米七邑。登米郡)。

楼台。鱒淵。狼河原。日根牛。米谷。嵯峨立。西郡。

○気仙沼七邑。

気仙沼。赤(松)岩。新城(月)。月立(新月)。鹿

折。小狼木(唐桑)(唐桑は宮城県の最北端。昔は諏訪荘と称し、藤原時代には唐と交易した五荘の一

—毎S31113)。

○国分寺七師(仙台木ノ下、陸奥国分寺。今は真言宗

新義派智山に属す。

咒願。三礼。唄。散華。維那<sup>以上</sup>。講師。読師。

○〔山東七郡〕（東山道）。

伊達。白河。石川。岩瀬。安積。安達。信太。

○七疑峰<sup>ナナツモリ</sup>（俗云七峰。擬中華九疑峰——永州府有九疑山。

朱明、<sup>一云丹朱</sup>・石城・石楼・娥皇・舜源・女英・簫韶・

桂林・梓材。黒川郡宮床村の内に三峰（前）、吉田村

の内に四峰（後）。

「改訂 船形連峰御所山案内」参照。

皆安山岩。各峰上薬師如来を安置。七薬師参照。

巨魁峰<sup>オウモリ</sup>（一名笹倉山。高さ508米）。

松蔭峯（一名松倉山。高さ291米）。

積倉峯<sup>ナクラモリ</sup>（一名撫倉山。高さ302米）。

尖頭峯<sup>トガリモリ</sup>（一名遂倉山。高さ307米）。

鎌索峯（一名鎌倉山。高さ300米）。

飛蜂峯<sup>トナモリ</sup>（一名蜂倉山。高さ280米）。

大倉峯（一名大倉山。高さ302米）。

○〔七軍管区〕（明治初期における軍事行政区——三上）。

第一軍管区（東京、佐倉、高崎）。

第二〃〃〃（仙台、青森、新発田）。

第三〃〃〃（名古屋、金沢、豊橋）。

第四〃〃〃（大阪、姫路、大津）。

第五〃〃〃（広島、松山、丸亀）。

第六〃〃〃（熊本、小倉、福岡）。

第七〃〃〃（北海道——守備）。

○〔七高山〕（東北の高山——囊4）。

平泉岳<sup>磐井郡</sup>。雄岳<sup>磐井郡</sup>。岩木山<sup>軽津郡</sup>。焼山<sup>南部郡</sup>。岩鷲山<sup>上同</sup>。姫

神山<sup>上同</sup>。志湯山（磐井郡。旧称卷山。俗称七高山。

七高山の第七）。

○七崎（仙台城下。一名仙台（府内）七崎——仙武12。河

夕S34724。夜「仙台七崎」）。

鴉崎（唐獅子崎。荒卷文殊堂下）。

茂ヶ崎（大年寺山——野出口山・東）。

藤ヶ崎（茂庭周防屋敷前。仙武12作茂庭主水、田辺

希元宅地前）。

鹿島崎（光明寺鹿島香取神社前）。



駒ヶ崎（一名松ヶ崎。中島丁中沼五郎助宅地前）。

玉田（手）ヶ崎（一名田歌ヶ崎。万寿寺山内）。

青葉ヶ崎（仙台城後の地）。（一説―大崎、藤ヶ崎、茂

ヶ崎、鹿島崎、巴崎（切通上口）、月見崎、青葉崎。

又説鹿島崎、小藤ヶ崎、茂ヶ崎、島崎、青葉崎、玉

田崎、袖ヶ崎―仙鹿。河S 34 7 29。源四73には大

崎、茂ヶ崎、青葉ヶ崎、藤崎、松ヶ崎、亀崎、鹿

島崎とす）。

○七清水（塩釜―奥）。

とうこ清水。江尻清水。かりまた清水。小松崎清水。

膳部清水。はなたて清水。からす清水。

○七所観音（一名七観音。奥州七所観音。仙金14に東

奥州観音道場七処とある）。

富山。牧山。篁嶽。大嶽（栗原郡佐沼郷南方村）。華<sup>ケ</sup>

足寺（登米郡米川村鱒淵。真言宗智山派）。小迫（栗

原郡三迫小迫村）。

清水寺（栗原郡岩崎村）。「木魚音」には篁嶽、牧山、

富山、登米郡水越、同鱒淵、南部三ノ戸、小迫とす。

○〔七大河〕（河川。「四神地名録」寛政7刊）。

筑後川<sup>筑後</sup>。四十万十川<sup>土佐</sup>。犀川<sup>濃信</sup>。淀川<sup>山城</sup>。阿武隈川<sup>奥州</sup>。北

上川<sup>上</sup>。

○〔七代高雄〕（江戸新吉原京町一丁目三浦屋四郎左エ

門抱の遊女、高尾七代相統「卯花園漫筆」4）。

初代―妙心高尾。我産みたる子を乳母に抱せ道中す。

子持高尾という。

二代―仙台高尾。仙台侯受出ず。

三代―西条高尾。蒔絵師西条吉兵工受出ず。

四代―水谷高尾。水谷庄左工門受出ず。

五代―浅野高尾。浅野因幡守受出ず。

六代―たそめ高尾。たそめや九郎兵工受出ず。紺屋

なり。享保十年頃。

七代―榊原高尾。榊原侯受出ず。延享頃。

○七沢八峰（嶺）（黒川郡吉岡の不亡池に、捧ふり田あ

り。鶴楯城の老婆と伊達政宗の故事に基づくという

―河S 30 6 9、S 34 8 28、S 34 9 21）。

未詳であるが台ヶ森（船形山麓）を三六箱六と俗称す。また伊達河内守宗清の黒川城築城頃の今村（上ノ原台地）の荒地を七沢八嶺と称したともいう。

○〔七道〕（往古の地方行政区劃。「字類抄」「地儀」）。

東海道、東山道（陸前陸中之に属す）、北陸道、山陰道、山陽道、南海道、西海道。

○七曲り水戸（塩釜―奥）。

新河岸前より大河岸曲り。大河岸前。はらひ崎むかふの曲り。女郎崎前。尾島前。籬島まへ。高かけ前。

○七名所（仙台城下）。

月見崎。天狗ヶ岩屋。青葉ヶ崎（一名梅ヶ森。仙台城築城前にあつた）。竜ノ口沢。松の尾。黒森。天神森。

○七薬師（黒川郡七ッ森の薬師。七疑峰参照）。

七ッ森の各頂上にある薬師如来をいう。七薬師がけのお詣が行われる。祭日は四月九日、九月廿四日。別当は羽黒派修験妙覚院。

○七屋敷（仙台藩主の江戸第宅）。

御上屋敷（芝口三丁目、海手。三五八一九坪）。

中屋敷（一名御本屋敷。愛宕下。一〇八四一坪）。

品川御屋敷（品川。三三五〇坪）。

浅布御屋敷（麻布。二一九〇二坪）。

袖ヶ崎御屋敷（大崎。二二二一六坪）。

深川御屋敷（深川。四八三一坪）。

千寿御屋敷（千住）。

○塩釜七浦（塩釜から松島への航路につらなつてある―奥）。

鷹巢浦（尾島大土手より花たてまで）。

二また浦（たかのす浦の用地につく所）。

たかの巢の下、中生。まないた浦（籬島の北藤倉沢の次の浦）。もとよし浦。巻がふち浦。ふし倉の浦。

○塩釜七清水（奥）。

とのこ清水（仙台街道の脇）。江尻清水（あたご山下）。かりまた清水（かりまた沢）。小松崎清水（女郎山）。膳部清水赤坂。花たて清水花田。からす清水島田。

○善王寺沼の七崎八沢（登米郡吉田村善王寺―毎S 31 4 28）。

七崎―弁天ヶ崎。長屋崎。円山崎。地藏崎（武道ヶ

崎）。白髭崎。台の崎。内寄崎。八沢―太郎助沢。

馬ヶ沢。金山沢。焼山沢。姥ヶ沢。相田沢。回林

沢。四五右エ門沢。

○〔全国七大問屋〕（明治時代の陶器商）。仙台鈴喜。：

○仙台七坂（仙台城下）（「夜」「奇」参照）。

大坂、扇坂、新坂、藤坂、石名坂、元貞坂、茂市ヶ

坂。

○仙台七刹（仙台城下の寺院）。

保春院・・・

○仙台七清水（仙台城下）。

野中清水（「正説詳記」に、南町の裏にありと。「囊」

は浄土宗光明山遍照寺境内にありといい、或説に

は宮城郡利府という）。大清水（東六番丁）。柳清

水（本櫓丁、三清水の一）。藤清水（琵琶首）。

鹿子清水（米ヶ袋。三清水の一）。・・・

○〔仙道七將〕（伊達家に帰属したものはお客大名と称した）。

白川氏（白河領主義親の代に伊達政宗に帰属す）。

石川氏。山城氏。・・・〔大人名事典―人物名数一覧〕

に、「奥州山東七家」として

結城義親、田村清顕、二階堂盛義、二本松義継、岩

城親隆、大内定綱、石川昭光をあぐ。石川昭光は伊

達晴宗第四子。磐城石川郡主石川修理太夫晴元の嗣

となり、元和8 7 10卒、73―仙名。

○〔徂徠七才子〕（儒者荻生徂徠門人。仙藻）。

平野金華（名玄中。字子和。牡鹿郡人）。

安藤東野。服部南郭。山県周南。高野蘭亭。宇佐見

瀧水。大内熊耳。

○高清水の七池七清水（栗原郡高清水町――河S 30 1

4）。

桂（桂葉）清水。葛清水（宝暦年間、深さ七尺）。清

水権現上。同下。役場裏北山。南山。本町裏。

○槻木七壇（柴田郡）。

焼壇、仙人壇、上人壇、精進壇、祇園壇。・・・

○名取七郷（上古名取郡の行政区劃。―和名抄）。

玉前（武隈）。指賀。駅家。<sup>ワキヤ</sup>井上。小野。磐城。名取。

○七色小役（四色小役参照）。

四色小役に、糠、藁、壹錢懸人足を加う。

○七田七屋敷（宮城郡中野）。

七田―<sup>マカリ</sup>曲田。蓬田。北田。<sup>バウ</sup>茨田。小袋田。和田。向田。

七屋敷―只屋敷。鍛冶屋敷。荒屋敷。片平屋敷。・・・

○<sup>ナナデン</sup>七田（宮城郡岩切。塚）。

羽黒田。姥神田。地藏田（殿）。日相田。萩の田。口―田。ナライ田。

○〔物門七哲〕（徂徠七才子をみよ）。

○松島七浦（宮城郡松島）。

竹の浦<sup>浦竹</sup>。梅が浦。霞が浦<sup>浦霞</sup>。胡桃が浦。生姜浦<sup>瓊浦</sup>。瀟浦<sup>浦瀟</sup>。デ。片の浦<sup>浦片</sup>。光徳浦<sup>浦五徳</sup>。（一説―霞浦・竹浦・シコノガウラ）。

桃浦・関浦・徳浦・梅浦・潟浦）。

○宮城七浜（塩釜村内七浜村）。

松ヶ浜（松浜）・東宮浜・花淵浜・菖蒲田浜・吉田浜・代ヶ崎浜・湊（港）浜。（「夜」―松浜の敵討参照）。

○〔陸奥国七軍団〕（元慶年中の官符により設置―「延喜兵部式」）。

名取、玉造、白川、安積、行方、小田（以上太政官符弘仁六年）。膽沢。

## 八

○岩沼八景（岩）。

鵜崎晴嵐。大橋夕照。光明院晚鐘。長沼落雁。鼻輪孤松。堂崎夜雨。法常寺秋月。荒井塘帰帆。

○小田原八丁（仙台城下。延宝中、第三次城下町拡張の際の町割。小田原を小俵とも書いた）。

車通、山本町、広丁、金剛院丁、大行院丁、清水沼通、牛小屋丁、蜂屋敷丁（一説―清水沼通、蜂屋敷丁なく、東裏町、裏山本町がある）。

○角田八景（東東陽画——河S 33 9 10）。

隈江帰帆・言海島松園・侯石山秋園（現称けやま）・舟橋夕照・

浮島暮雪・小田落雁・斗藏寺晚鐘・花崎夜雨。

○金ヶ崎八景（北上川畔金ヶ崎町——旧 388頁）。

釜崎夜雨。片岡夕照。北上川帰帆。三ヶ尻落雁。珊

湖岳秋月。国見山晚鐘。早池峰暮雪。八王子晴嵐。

○三株八勝（三本木、鳴瀬川の辺。和歌。保田光則撰

「撫子日記」）。

鶴丘秋月（小鶴が館）。西田落雁。三峯晴嵐。鳴瀬帰帆。長橋

夕照（三本木橋）。前坂夜雨（三本木宿少雨）。千貫暮雪。長寿晚鐘。

○塩釜八景（千賀漁人の詩あり）。

塩釜暮煙、籬島断雨、社頭賞春、法蓮臨潮、江郷泊

舟、松浦秋月、壺碑懷古。

○塩釜八景（冷泉爲綱卿出題、諸卿詠之。又幸混一人

八首——「仙金」附録二奥州八景。吉田友好編。塩釜

八景詩、大槻清崇七絶）（仙台双書六、松島巡覽記は

塩松八景に作る）。

塩釜浦船（松）。雄島旅雁。月見崎月。蕭寺晚鐘。籬

島夕照。浮島翠松。海浜漁火。富山暮雪。

○塩釜八景（源幸和の漢詩八首がある）。

千賀浦帰帆、勝画楼夕照、籬島暮雪、芦洲落雁、東

宮秋月、南宮晚鐘、紅葉山夜雨、末松山青嵐。

○塩釜八崎（塩釜より松島への航路沿いにある——奥）。

寺ヶ崎、拔ヶ崎、鳶ヶ崎、小黑崎、大黒崎、尾島崎、

琵琶崎、女郎崎。

○塩釜八島（奥）。

籬ヶ島。みつの小島（見日が小島、籬島の前）。葛し

ま（一名くのしま。高城前）。内裏島（高城境）。き

さき島（内裏島附近）。蛇島（崎山と釜ヶ淵との間）。

裸島（釜ヶ淵と裏島との間）。尾島（尾島崎の前）。

○柴田八郷（奈良時代頃の郡制）。

柴田郷（船岡）。駅家郷（大河原）。高橋郷（金ヶ瀬）。新羅郷（富岡）。小野郷

（川崎）。溺城郷（田村）。衣前郷（槻木）。餘戸郷（沼辺）。

○白石八ヶ村（宮城郡根白石村）。

朴沢、福岡、根白石、田中、小角、実沢、野村、古

内。

○準御一家八家（仙台藩主伊達家の一門に準ずる家柄）。

猪苗代、天童、松前、葦名、高泉、上遠野、保土原、福原。

○〔全国八景〕（浦と川と山の勝境地。読）。

塩釜浦前陸・和歌浦伊紀・住吉浦津撰・明石浦歴播・加茂川山城・

最上川羽出・富士山河駿・芳野山和大。

○〔全国八道〕（行政区劃）。

七道と北海道。

○仙府八景（宮城八景―河夕 S 34 8 23）。

長町青嵐（五代藩主伊達吉村撰）・・・

○玉浦八景（岩）。

東白山晚鐘。薬師堂秋月。三軒橋夕照。長者森夜雨。

阿武隈朝霞。矢野日落雁。新浜港帰帆。関伽江晴嵐。

○玉造八湯（玉造郡の温泉）。

川渡温泉（脚気に効あり、脚気川渡という）。

田中温泉。赤湯温泉（赤梅の里）。元車温泉モトクルマ。新車温

泉。鳴子温泉（承和二（835）十月噴出。鳴声の湯という。慶長頃鳴子と改む）。河原湯温泉（一名玉造の湯）。中山温泉。

○伊達八家（仙台伊達家の一門―河夕 S 37 11 9）。  
亘理、登米、涌谷、水沢、宮床、岩出山、岩谷堂、川崎。

○槻木八崎。

弓ヶ崎。松崎。大門崎内館・島居崎・・・

○鼎浦八景（気仙郡気仙沼。詩人油井牧山に鼎浦八景詩あり）。

澄心庵秋月。月亀山晴嵐。鵲巢夜雨。袈婆山夕照。柏

崎白帆。鹿嶺暮雪。青竜庵晚鐘。田中沖落雁。

○遠刈田八景。

湯神社の日出。阿小島の桃。亀の沼の花菖蒲。不動

滝の郭公。松川の夕涼。箆山の新月。七日原の夕時

雨。不忘山の雪景。

○炯屋八人衆（藩政時代、大津保村大箆銅山―旧41頁）。

千葉土佐。沼倉伊賀。須藤相撲。須藤伊豆。佐藤淡

路。佐藤但馬。佐藤治部。佐藤丹波。

○南山閣眺望八景（仙台市。日野前垂相資枝の和歌あり、伊達村幸の南山閣詠詩が「登米伊達家文書」中にある―仙金四）。

塩釜浦霞。末松山花。名取川霖。宮城野鹿。十符浦月。阿武隈河（川）雪。南山閣眺望。松ヶ（賀）浦嶋鶴。

○〔日本秋八種〕（運輸省「観光資源要覧」）。

宮城野の萩（仙台市内。白石市益岡公園。加美都宮崎町等にもある。これは糸萩の改良種。葉は品字形で三枚又は四枚。色は濃紫薄紫、紅赤、白鹿の子。花期は八月から十一月）・・・

○八鉦山（仙台藩内）。

津山（膽沢郡・金山）。細倉（栗原郡・銀山）。尿前（玉造郡・銅山）。桧沢（加美郡・銀山）。関山（刈田郡・銀山）。雙森（同上）。熊沢（玉造郡・銀山）。黒森（刈田郡・銀山）。

○八政（仙台藩職制）。

御奉行。評定役。出入司。御町奉行。御近習目附。御郡奉行。御目附。評定所御役人。

○保呂羽八景（東磐井郡大津保村保呂羽）。

長徳寺<sup>時宗</sup>。箒松（曹洞宗藤源寺）。菩提樹<sup>同上</sup>・・・

○松島八景（釈鵬雲の詩がある）。

松島秋月。雄島夕照。梅浦早春。霞浦帰雁。瑞巖晚鐘。竹浦夜雨。塩釜暮煙。江県残花。

○松島八景（「八景集」。鎌倉建長寺靈岩、各景に詠詩七絶、次いで和歌を載す―松）。

梅浦春景、霞浦帰雁、市廓漁家。雄（御）島晚眺。塩釜暮烟。山寺晚鐘、松島秋月、竹浦夜雨。（「風のしがらみ」上の奥州松島八景は、塩釜浦煙、雄島旅雁、月見崎秋月、旧寺晚鐘、籬島夕照、浮島翠松、海浜漁火、富山暮雪）。

○松島八崎

象鼻ヶ崎、小松ヶ崎、亀ヶ崎、須崎、法師崎（又云宝珠崎・長谷崎）。蛇ヶ崎。浦ヶ崎（津崎）。月見崎。

○松島八島

雄島、屏風島、二兒島、経島、徳浦島、福

浦島、朝日島、翁島。

○宮城八なす（なすの俗語）。58年老人学級講話。

畑なす。木なす。ぼけなす。けんぼなす（し）。はまなす（すがはたはまなす）。おらがちゃんしやがらなす。なんともしやでなす。みだくなす。

○宮城八景（天漪翁高玄岱の七絶詩あり。「仙府八景」。

「仙金」12）。

宮城秋月、木下晚鐘、本荒夜雨、榴岡夕照、玉田落雁、青葉青嵐、松浦遠帆、多賀暮雪。

○〔陸奥八軍団〕（古代兵制。陸奥国七軍団参照。或は七軍団の誤か。宮城の所在可怪）。

宮城、名取、玉造、小田<sup>宮城以上</sup>。安積、行方、白河<sup>福島以上</sup>。

膽沢<sup>手岩</sup>。

○薬師八景（詠詩あり）。

旗立帰帆。築館秋月。姥杉夜雨。雙林晚鐘。駒岳暮雪。留場夕照。成田落雁。花山晴嵐。

○八小路（仙台城下の道路で小路と名のつくもの、「夜」<sup>ヤコウジ</sup>）。

「奇」参照）。

大名小路（片平丁）。清水小路（古名関の小路）。野

干小路（現今の仙台駅構内。享保八年刊「仙台萩」にあり）。狐小路（高裁前）。桜小路（片平丁、東北大学構内）。谷地小路（一名道場小路）。連坊小路（俗称恋慕小路）。寺小路（元寺小路）。

○八沢八景（八沢とは東磐井郡藤沢村の旧名。

正中頃<sup>1324</sup><sub>1325</sub>）には八沢本郷と称し、後の藤沢、大津保、八坂の三村を合併していた）。

館沢の滑石。千草の沢の千草の花。百目木沢の坐禅石。白沢の屏風岩<sup>以上</sup>（藤沢<sup>以上</sup>）。大望沢の田毎の月。芦萱の節なし芦<sup>以上</sup>（八沢<sup>以上</sup>）。雉子の沢の白雉。左沢の左輶<sup>以上大</sup>（津保<sup>以上大</sup>）。

○八ッ塚（仙台新寺小路。八塚の墓石は角石。

「囊」2。三十三番札所。「仙武」2）。

成覚寺（十劫山。浄土宗）。愚鈍院（五却山。浄土宗）。大徳寺（成就山。浄土宗）。長泉寺（法林山。曹洞宗）。大林寺（森成山。曹洞宗）<sup>以上</sup>。正雲寺（真楽山。浄土宗。八塚伝説起原の八地藏がある）。妙心院（稻荷



山。曹洞宗。林松院(昌峰山、曹洞宗)。以上。一説に

北側。

八塚とは榴岡西南、清水小路の東の汎称。新寺小路と称す。孝勝寺、阿弥陀寺、善導寺、西蓮院、成覚寺、大徳寺を含む―電87頁。

○八八幡(八八幡懸<sup>ガケ</sup>と称し、祈願者が多かったという)。

大崎八幡。亀岡八幡。榴ヶ岡八幡。宮城野八幡。木

ノ下八幡。若林八幡。新弓ノ町八幡。小田原八幡。

○閑上八景(「名取郡志」。朝S 54 3 29「陸前浜をゆく10」)。

広浦の落雁。日和山の帰帆。太白山の暮雪。名取川

の夕照。鶴塚の晴嵐。鶴松の夜雨。法華山の秋月。観

音寺の晩鐘。

○臨済院八景(吉成。宮城町誌、風土記御用書出)。

老玄峰。式玄峰。三玄峰。寶主嶺。白鹿園。青竜池。

三級道。老脈泉。享保五年九月、開山鳳山和尚七五

才の節、作詩あり。

## 九

○九駅(上代の交通―「延喜式」)。

柴田(柴田郡大河原。駅馬十四)。小野(小野村。同上)。名取(駅馬五匹。以下同)。玉前。栖屋<sup>スヤ</sup>(宮城野)。黒川。色麻。玉造。栗原。

○九祈禱所(仙台城下。藩主の祈禱所)。

仙岳院。竜宝寺。定禪寺。千手院。法蓮寺。国分寺学頭。良覚院。山田土佐守。平野伊勢守。

○藏王九峰(刈田郡藏王山)。

熊野峰(岳)(一八四〇米)。杉ヶ峰(一七四五米)。：

○代々御太刀蓋頂戴之家九輩(仙台藩主伊達家)。

国分、増田、上郡山、飯田、砂金、藤沢、梁川、茂

庭(以上一番坐)。白川<sup>二番坐</sup>。

○槻木九谷地(別名槻木九の入)。

前谷地、中谷地、寺入、二渡入、戸ノ入、・・・

○名石九ツ(塩釜―奥)。

おむつき石(御裏下馬の所)。影向石(七曲り坂下)。

波除の石(御釜社内)。男石(中宿より白坂へ上る所)。  
女石(舟戸町横丁)。牛石(上本町)。御腰かけ石(は  
らひ崎海中)。しるべの石(御代橋横丁)。母子石(母  
子沢堤東)。

○召出の家に所持九家(仙台藩主伊達家)。

西大條四郎(栗原郡一迫八樟村)。北作右工門(加美  
郡城生村)。本多衛守(柴田郡足立村)。佐藤権右エ  
門(志田郡下伊場野村)。山家豊三郎(伊具郡島田村)。  
大河内源太夫(黒川郡大松沢村)。太田新六郎(黒川  
郡大谷中村)。武田半七郎(桃生郡和淵村深谷)。浅  
井彦三郎(牡鹿郡南境村)。

# 十

○牡鹿十社(式内社)「神」「耳」。

零羊崎神社。香取伊豆乃御子神社。伊去波夜和気命  
神社。曾波神社。拝幣志神社。鳥屋神社。鹿島御子  
神社。大鳥神社。久集比奈神社。計仙麻神社。

○景地十ヶ所(仙台城下。大納言通誠等撰「仙台十景

和歌」一卷あり、写本)。

青葉ヶ崎、亀ヶ岡、木ノ下、八塚法蓮寺、釈迦堂、新  
坂、愛宕、瑞鳳寺、宮城野、北山。

○紺保衣十騎(一名紺幌十騎。上杉景勝の属城(福島)  
攻めに、伊達家武將後藤肥前所掛の母衣黄色、其外  
は紺色、この十騎の功を賞し母衣を免許した)。

後藤肥前信康(特に黄後藤と称す。小牛田町不動堂  
城主—河S 34 9 18)。黒木肥前宗元。石川弥平実元。  
氏家新三郎兼次。遠藤但馬。河島豊前景泰。守屋伊  
豆信重。金森隠岐。一迫伊豆高実。今泉丹波。

○〔佐藤一斎門十哲〕(儒者佐藤一斎門人)。

国分平<sup>仙</sup>。長戸得斎。若山勿堂。...

○〔十大都市〕(昭和初)。

仙台、東京、大阪、京都、名古屋、横浜、神戸、福  
岡、横須賀、札幌。

○〔全国十大金山〕(朝S 54 5 3「陸前浜を行く31」)。  
鹿折金山(気仙沼市)...

○仙台十騎衆(「伊達編年記」一に、貞山様御代より初

る」とあるが、紺保衣十騎と少異あるのみ。「古文獻目録」七)。

黒木肥前。一ノ迫伊豆。大町主計。氏家新兵工。遠

藤武藏。金森隱岐。高野壹岐。守屋伊豆。後藤孫兵

工。川崎豊前。

○仙台十家(仙台藩漢詩人。今泉彪編「仙台十家詩選」

あり、「東海漁唱後序」)。

新井滄洲。畑中荷沢。志村五城。釈南山。松井梅屋。

油井牧山。大槻磐溪。斎藤竹堂。太田三峽。目々沢

鉅鹿。

○仙台十景(延享四夏、冷泉爲直和歌―仙金附録二)。

青葉崎霞。名取川花。高松時鳥。多湖浦冷風。宮城

野萩。恋路山鹿。阿武隈川千鳥。松賀浦島雪。広瀬

川游魚。亀岡瑞垣。

○〔天下十刹〕(室町時代禅宗寺院)。

円福寺(瑞巖寺)(宮城県松島)。興福寺(会津若松。臨濟

宗妙心寺派・弘安10。覚円開山)。興聖寺(末。東昌(安)

寺仙。禅長寺福。大禅寺未。東禅寺岩手。崇禅寺羽。勝

因寺山形。金剛寺未。

○〔東北十勝〕(名勝投票―河〔S5〕)。

秋保大滝。志津川・・・

○〔日本十刹〕(足利尊氏元寇の死者慰霊のため全国に

十ヶ寺建立すという)。

安国寺(志田郡柏崎)・・・

○〔俳諧新十家〕(俳諧新十家類題集)。

道彦仙。月居。奇淵。乙二石。樗堂。升六。土朗名古。

成美。完来。蒼虬。

○松島十景(鵬雲和尚の詠詩あり。松)。

苦屋残月。瓊浦晴雪。藻塩斜煙。福浦遊鳥。富山翠嵐。

海岸靈橋。洲崎晚涼。岸花映浪。寺前雙梅。松下古

碑。

○宮城県十傑(政客―河夕S3110)。

白石広造江田專太郎・・・

○〔洋学者十人〕(千早文多撰「和人名数―仙台文学」)

高野長英、古賀文太郎、望月圭、荘司郡平、渡辺華

山、斎藤八郎兵工、本木道平・・・

# 十一

○〔峨山十一哲〕（曹洞宗峨山派）。

無端祖環。大源宗真。宗峰良秀。大徹宗令。通幻寂靈

（以上五傑）。無底良紹（江刺郡正法寺開山）。道與道

愛。月泉良印（江刺郡正法寺二世）。源翁心紹。無外

円照。無隆純証。

○黒石正法寺佳境十一（一名山中十一佳境。江刺郡黒

石村大梅拈香山正法寺）。

花立坂（寺西北十丁余）。蓮台石（寺西七・八里余）。

瑞鹿基。長江流。黒石岩（寺西北三里余）。菩提坂。

靈大塚。蛇形石。瑞鳥峰。水昌山（寺南五里余）。輕

石嶺。

○御一門十一家（仙台藩主伊達家）。

石川大和。伊達安房。伊達將監。伊達安芸。伊達式

部。伊達右近。伊達六郎。伊達彈正。伊達織部（以

上一番坐）。白川近江。三沢信濃、（以上二番坐）。

○馬上十一騎（伊具郡三村の苗字帶刀、武具御免の土

着民。貞山公白石合戦の時、味方した百姓達―仙金  
附録4）。

甚助、甚左エ門、与五右エ門、仲右エ門、

孫右エ門、吉郎平、長七郎（以上七人耕野村）、卯兵

エ、門四郎、仲四郎（以上三人川張村）。十太右エ門

（大藏村）。

# 十二

○〔十二諸侯〕（徳川幕府の大名）。

前田、島津、伊達<sup>台仙</sup>、黒田、細川、毛利、蜂須賀、鍋

島、山内、佐竹、上杉、池田。

○仙台十二傑（源修撰「仙台黄門政宗公」）。

仙台中將綱村朝臣。仙台中將重村朝臣。堀田摂津守

正敦。伊達藤五郎成実。片倉小十郎景綱。支倉六右

エ門常長。伊達安芸宗重。柴田外記朝意。中村日向

義景。林子平友直。大槻玄沢茂実。大槻民治清準。

○玉造十二湯（玉造郡の温泉）。

川渡。田中。湯坂。赤湯。新赤湯。元車湯。新車湯。一

の坂。多賀下。鳴子。河原湯。中山。

○〔東方十二道〕（上代の行政区劃）。

伊勢、尾張、三河、遠江、駿河、甲斐、伊豆、相撲、武藏、上總、常陸、陸奥。（『日本紀』三、紀伝の注「此目は後には東海道に入らざれども下文に往遇于相渾とあれば此も十二国の内となすべし」という。）

○〔日本名所十二景〕（池大雅撰、明和二年頃）。

松島前陸、不破関、錦帶橋、宮島、船橋・・

○法蓮寺塔頭十二院（塩釜）。

普門、建主、地藏、能満、弥勒、文殊、護雲、和光、送泰、上寿、豊持、相応。

○〔本朝十二景〕（『日』自序）。

田子河駿・松島前陸・箱崎前筑・橋立後丹・若浦伊紀・鴛湖近江・鼈島安芸・蚶象羽出・朝熊伊勢・松江出雲・明石播磨・金沢武蔵。

○国分盛重家臣十二騎（安永風土記書出・興禅寺条）。

六丁目氏。〔作並宮内〕〔藏人〕。・・・

### 十三

○瑞巖寺十三支院（宮城県松島・臨濟宗妙心寺派）。

法雲。育松。大光。円同。得住。竜月。江月。宝珠（一名心月。六世覺満建立）。護国。伝曲。萬松。紹隆。聯芳。

○本吉十三浜。

追浜。吉浜。月浜。（以上三浜）。立神。長浜（長塩座）。白浜。小室。大室。小泊。相川。小指。大指。小浜。

### 十四

○塩釜神社十四末社（塩釜）。

鼻節。大根。吉田。東宮。松崎。籬島。梅宮。奏社。浮島。南宮。冠川。柏川。小力。北宮。

○勝大寺衆徒十四坊（栗原郡小迫村。永承中、有二十

六坊。眞言宗豊山派。M16頃十四坊）。

堯眞、法橋、乗月、教実（以上四坊火宅僧）。論指、

光智、実乘、正円、眞鏡、仲大、光実、円空（眞）。

円林、成実（以上十坊。永承頃追清坊）。

○瑞巖寺塔頭十四庵（松島。十三支院参照）。

一華。青松。法雲。大光。円月。竜月。宝珠。護国。

伝昌。萬昌。紹隆。聯芳。毒竜。松吟。

## 十五

○熊野山新宮寺衆徒十五坊（名取郡、眞言宗智山派。×

印は既に荒廃。現在は未詳）。

馬場坊。辻ノ坊。極楽坊。竹園坊。来迎坊。北林坊。

東光坊。橋本坊。福智坊。西光坊。往生坊（院）。梅

沢坊。宝光坊。中ノ坊。山本坊。

○殉死十五輩（藩主貞山公への殉死者）。

石田將監、茂庭采女、佐藤内膳、青木忠五郎、南次

郎吉、加藤十三郎、菅野正右エ門、矢目伊兵エ、入

生田三右エ門、桑折豊後、法師喜斎、小野仁右エ門、

小平太郎左エ門、渡辺権之允、大槻喜右エ門。

○〔東北十五勝〕（名勝）。

奥の耶馬溪（膽沢郡）。・・・

○返盃着坐十五ヶ寺（一名朱星坐座。仙台伊達家）。

大仰寺。天麟院。覚性寺。資福寺。天皇寺。国分寺

学頭。新宮寺学頭。松音寺。円通院。海無量寺。永

安寺。大梅寺。靈桃寺。善心寺。正法寺。

○桃生十五浜。

釜谷。長面。尾崎。名振。舟越。大須。熊沢。築浜。

立浜。大浜。小島。明神。雄勝。水浜。分浜。

○竜門十五境（一名竜門十五勝。宮城郡七北田村洞雲

寺境内）。

不露峰。三五松（一名珊瑚松）。天狗樅（天狗の相撲

場）。不動瀑布。飛猿嶺。坐禅窟。二嫩桂。金竜池。

竜門巖。鶏頭坂。観音洞。竜牙谿。山寺茶。三蘇木。

竜伏橋田。

## 十六

○〔遠田十六〕（「大宝令賦役令集解」調庸物條古記）。

上総、常陸、武藏、下総、上野、下野、陸奥、佐渡、

周防、石見、土佐、越後、安芸、長門、隱岐、筑紫。

○〔豊臣秀吉十六愛妾〕（仙名）。

<sup>ニオイ</sup>

香の前―阿種の方のこと。京都伏見浪士高田次郎右

エ門の女。十八才で秀吉に召出され香姫と称す。文

禄四年、秀吉伊達家茂庭石見綱元に賜い、後伊達

政宗に帰す。政宗寵して一子を生む。亘理宗根で

ある。宗根栗原郡高清水館に奉養す。寛永17 12 2

卒す。...

○要害十六ヶ所（伊達政宗の藩内要害の地16所、臣下

16人を封ず―河S 34 10 12）。

角田（石川氏）。...

## 十七

○御一家十七家（仙台藩主伊達一族）。

鮎貝、秋保、柴田、小梁川、塩森、大條、泉田、村

田、黒木、石母田、瀬上、中村、石川、中目、亘理、

梁川、片倉。

○御一門格寺院十七ヶ寺（伊達家一門の格式の寺）。

仙岳院、竜宝寺、法蓮寺、定禅寺、千手院、瑞巖寺、

覚範寺、保春院、瑞鳳寺、陽徳院、東昌寺、光明寺、

満勝寺、輪王寺。孝勝寺、大年寺、萬寿寺。

○〔十七大都市〕（S 22 10 1 現在人口20万以上。東京市を除く）。

大阪。京都。名古屋。横浜。神戸。福岡。仙台。横

須賀。札幌。川崎。熊本。尼崎。金沢。広島。函館。

静岡。新潟。

○新宮寺十七坊（名取郡熊野堂）。

熊野山新宮寺衆徒十五坊に柳泉坊、寂眞坊。

○宮城県十七寺（古刹）。

箱泉寺<sup>桃生</sup>・華足寺<sup>米登</sup>。篁峰寺<sup>田遠</sup>。梅溪寺<sup>石巻</sup>。洞雲寺<sup>宮城</sup>。

瑞巖寺<sup>同</sup>・高藏寺<sup>伊具</sup>・東北院<sup>同上</sup>・国分寺<sup>宮城</sup>・弥勒寺<sup>登米</sup>。

上行寺<sup>同上</sup>・長承寺<sup>伊具</sup>・斗藏寺<sup>伊具</sup>・往生寺<sup>加美</sup>・多福院<sup>石巻</sup>・法

山寺・陽山寺。

## 十八

○国分寺十八伽藍（仙台木ノ下）。

白山権現社。八幡宮。天満宮小田原。二王。伽藍神。準  
 胝観音。大土。午頭天王。奥ノ院正観音(国分尼寺。  
 以上九処各有堂社)。山王権現。鬼船明神。神明宮。  
 諏訪大明神。熊野権現。稻荷大明神。弁財天。阿弥  
 陀如来。法領権現(小泉邑。以上九処荒廢。今存其  
 名于石)。

○〔十八家〕(一名十八国主・国持十八家。江戸時代の  
 国持大名。読)。

前田家加賀・松平家前越・島津家薩摩・毛利家長門・伊達家前陸・  
 細川家肥後・池田家因幡・鍋島家佐賀・黒田家前筑・浅野家安芸・  
 池田家前備・佐竹家秋田・上杉家米沢・山内家土佐・松平家雲出・  
 藤堂家津・有馬家久留米・蜂須賀家阿波。

○十八要害(仙台藩内の要害。元和元年以降一国一城  
 となり、城の名を廃し、岩沼城は岩沼要害と称す―沼  
 40頁)。

白石城。鵜ヶ崎城岩沼。・・・

○中尊寺衆徒十八坊(平泉)。

金色院。别当(以上二院清房)。西谷坊。南谷坊。上

西谷坊。東谷坊。歓喜院。観泉坊。吉祥坊。桜本坊。  
 乗沢坊。大林坊。鉢本坊。野辺坊。別所坊。中野坊。  
 永根坊。観智坊。

○水下十八町(仙台城下。国分四ッ谷堰用水水下の  
 町々)。

大町一・二丁目、大町三・四・五丁目、新伝馬丁、国  
 分町、肴町、立町、二日町、本材木町、北材木町、柳  
 町、南町、北目町、北鍛冶町、田町、穀町、染師町、  
 南材木町。

○毛越寺十八院(平泉)。

千手・妙禅・蓮乘・光円・慈光・隆藏・大乘・金剛・  
 正善・日王・覚性・福昌・普賢・寿命・感神・寿徳・  
 宝積・薬王。

## 二十

○大年寺塔頭二十字(仙台城下。囊2)。

小林院。普門院。松幢院。活竜院。頂王院。天遊院。  
 撐月院。四天王院。徳本院。玉笛院。勝福院。西来



院。四定院。曇花院。大眞院。福寿院。大光院。岩松軒。觀陵軒。慈恩院。

○南山閣二十景（仙台城下。南山閣は石田氏別業。猪苗代謙宜所詠の和歌がある）。

南山閣、有余亭、千秋楼、望楓亭、清風館、軒端梅、松崎、採蘭阜、苔清水、落猿巖、吹律谿、何虹涯、吐雲阪、時雨軒、翠松岡、承露盤、臨川台、白鳥社、稻荷社、竹駒社。

○封内名所二十勝（仙台領内の名勝。正徳二（1712）、冷泉爲綱卿出題、諸卿各有和歌——仙台双書六。仙金附録二に「大槻清崇の封内名勝詩二十首<sup>七</sup>」あり）。

陸奥山、末松山、磐手山、宮城野、玉河、真野河原、奈古曾関、緒絶橋、玉造江、名取川、衣川（河）、阿武隈川（河）、奥海、十符浦、塩釜浦、松島、美豆小島、松賀浦島、袖渡、阿武隈松。

○毛越寺衆徒二十区（平泉）。

隆藏寺（清僧）。山獐坊、寂淨坊、円光坊、円藏坊、柳下坊、鳥屋崎坊、桜岡坊、千光坊、池上坊、連繞

坊、宝金坊、常本坊、寛城坊、善正坊、梅下坊、蓮乗坊、峯立坊、功坊。・・

## 二十一

○所在拝領二十一ヶ所（伊達政宗所封の家臣の封地——河 S 34 10 12）。

桃生郡永井（村田氏）。・・・

○二十一要害地（仙台藩防衛地）。

平沢（刈田郡、高野氏領）。角田（伊具郡、石川氏領）。金山（同上、中島氏領）。川崎（柴田郡、伊達氏領）。舟岡（同上、柴田氏領）。小堤（亘理郡、伊達氏領）。阪本（同上、大條氏領）。新地谷地小屋（宇多郡、伊達氏領）。岩沼（名取郡、古内氏領）。涌谷（遠田郡、伊達氏領）。不動堂（同上、後藤氏領）。岩出山（玉造郡、伊達氏領）。清水（栗原郡、原田氏領）。宮沢（同上、長沼氏領）。佐沼（同上、亘理氏領）。金ヶ崎（伊沢郡、大町氏領）。岩谷堂（江刺郡、伊達氏

領)。上口田(同上、中島氏領)。人首(同上、渡辺氏領)。寺池(登米郡、伊達氏領)。水沢(伊沢郡、伊達氏領)。

## 二十二

○御一族二十二家(仙台藩主伊達家一族)。

大立目、大町、大塚、大内、西大條、小原、西大立目、中島、宮内、中島、茂庭、佐藤、遠藤、富中、片平、下郡山、沼辺、大町、高城、大松沢、石母田、阪。

## 二十四

○口留御番所二十四ヶ所(仙台藩境界番所)。

駒ヶ嶺(宇多郡・駒ヶ峯)。大内(伊具郡)。峠(同上・丸森)。大坊木(同上・耕野)。越川(刈田郡・越河)。戸沢(同上・小原)。湯原(同上)。笹谷(柴田郡・今宿)。野尻(名取郡・馬場)。作並(宮城郡)。軽井沢(加美郡・小野田)。田代(同上・宮崎)。尿前(玉造郡・鳴子)。鬼首(栗原郡)。下嵐江(伊沢

郡・若柳)。相去(伊沢郡)。寺坂(江刺郡・下門岡)。水押(江刺郡)。上口内(同上)。野手崎(同上)。人首(同上)。下有住(気仙郡)。上有住(同上)。唐丹(同上)。

○国分寺二十四坊(仙台北ノ下(堂森))。

院主、別当、馬場本堂、東大門坊、極楽坊、杉本坊、桜岡坊、富岡坊、西中坊、東中坊、泉岡坊、梅本坊、井上坊、池ノ坊、杉ノ坊、吉窪坊、大室坊、泉崎坊、常楽坊、窪ノ坊、竹内坊、水上坊、善林坊、西大門坊。

○伊達二十四將(河S41610)。

後藤近元。...

○洞雲寺二十四字(宮城郡七北田村。一名山寺、今所在九区。日本三山寺参照)。

滝(竜)月院、泉滝(竜)院、江北院、当陽院、瑄溪院、竜雲院(軒)、景雲院、積(石)苔院、回軒院(一作江西)。

○二十四町(仙台北下、商人足輕小者の町。「奇」)。

大町<sup>一五</sup>、国分町、南町、立町、肴町、新伝馬町、柳町、荒町、田町、南染師町、北目町、二日町、北鍛冶町、南鍛冶町、南材木町、北材木町、穀町、本材木町、御宮町、河原町、支倉町、澱町、亀ヶ岡町、八幡町。

○「二十四輩」(一作二十余輩。「二十四輩順礼記」あり。

真宗の高僧、親鸞の弟子の開基の寺院。読)。

常州鹿島の性信房(武州報徳寺。下總報徳寺)。

下野真壁の真仏房(下野専修寺。下総称名寺)。

常陸の順信房(常州無量寿寺)。

常陸の乗念房(常州如来寺)。

下總の信楽房(下總 弘徳寺)。

成念(然)房(下總妙安寺。上州妙安寺)。

西念房(下總西念寺。信州長命寺)。

証性房(常州青蓮寺。奥州柵倉蓮正寺)。

善性房(下總 東弘寺)。

是信房(奥州南部本誓寺。信州本誓寺)。

無爲信房(奥州柵倉無爲信寺。仙台北山称念寺)。

善念房(常州善童寺)。

信願房(下總慈願寺)。

定信房(常州 阿弥陀寺)。

道円房(常州枕石寺)。

入信房(穴沢の入信)(常州寿念寺)。

念信房(常州 照願寺)。

入信房(八田の入信)(常州常福寺)。

明法房(常州 上宮寺)。

慈善房(常州 常弘寺)。

唯仏房(常州 淨興寺)。

唯信房(外森の唯信)(常州唯信寺)。

唯信房(畠谷の唯信)(常州覚念寺・信願寺)。

唯円房(常州 西光寺)。

○袋内二十四ヶ村(登米郡宝江。中世以来の俗称。「葛

西記」は袋中に作る―毎S 30 5 21)、「大日本地名辞

書」陸前の部)・・・

○宮城県二十四勝景(M 41、東宮殿下東北六県巡幸の

際献上、大須賀筠軒等画「宮城県二十四勝景」があ

る。

塩釜神社、宮城野、名取川、金華山、富山、気仙沼、日和山、五大堂、多賀城、広瀬川、扇谷、愛宕山、瑞鳳殿、青葉山、阿武隈川、薬師堂、躰躰岡、材木岩、篁嶽、雄島、瑞巖寺、御殿崎、定義洞門、鎌先温泉

## 二十五

○〔峨山二十五哲〕（曹洞宗總持寺第二祖峨山紹碩禪師門下―旧）。  
無底（正法寺開堂会修行）。道叟道受（正法寺第二世）。・・・

○篁峰寺衆徒二十五坊（遠田郡篁嶽。天台宗）。東坊。吉祥坊。藤本坊。萱坊。実相坊。桜本坊。窪ノ坊。熊野坊。中ノ坊。坂ノ坊。大門坊。二王坊。梅本坊。井上坊。林崎坊。相泉坊。西ノ坊。薬師堂。杉本坊。松本坊。林泉坊。智元坊。慈教坊。常音坊。長円坊。  
○洞雲寺二十五坊（宮城郡七北田、一名山寺）。竜月院。泉竜院。江北院。江西院。景雲院。当陽院。瀑泉院。

瑄溪院。石苔軒。長禪軒。江南軒。松隣院。心月庵。松吟軒。惠軒。林岳院。竜雲軒。安盛軒。栗棘院。崎沢院。竜居院。青岩院。得月院。觀藏院。松溪院。  
○〔東北二十五勝〕（S 5830河調査）。

旭山桃生。秋保大滝名取。大谷海岸氣仙沼。牛淵溪谷栗原。・・・  
○深谷二十五邑（源頼朝長江義景に与う―〔河南町誌〕日七）。

宮戸。野蒜。大塚浜。浅井。小野本郷。上下堤。川下。浜市。牛綱。西福田。新田。高松。根古。大曲。矢本。小松。赤井。大窪。塩入。北村。須江。前谷地。和淵。鹿又。広淵。

## 二十七

○口留番所二十七所（仙台藩領出入境番所―公）（口留番所二十四ヶ所参照）。

宇田郡駒ヶ峰（相馬境）。伊貝郡大内村旗卷山。同郡丸森村峠宿（伊達境）。刈田郡越河村石大仏。同郡小原村小坂峠。同郡湯原村。同郡湯原猿鼻（出羽境）。

柴田郡今宿村笹谷宿。名取郡馬場村二口清水大崎。同郡同村二口二本ふな。宮城郡作並村坂元。加美郡小野田本郷。同郡宮崎。玉造郡鳴子中山宿。栗原郡鬼首村。同郡同村水境。同郡花山村四段坂。同郡同村田代。膽沢郡若柳村下嵐。同郡相去村(南部境)。江刺郡下門岡村土橋。同郡上口内村松坂。同郡野手崎村柳清水。同郡人首村五湯峠。気仙郡世田米村赤坂。同郡有住村道祖神境。同郡唐船村石塚。

○二番着坐二十七家(仙台伊達家臣)。

只野、大條、奥山、同上、古内、同上、高野、伊達、佐々、富田、長沼、布施、黒沢、芝多、松岡、石田、平賀、古田、増田、真山、松木、和田、氏家、戸田、和久、笠原、大町。

## 二十八

○所拝領二十八ヶ所(伊達政宗所封の家臣采地―河S 34 10 12)。

黒川郡宮床(伊達氏)。・・・

○二十八景(仙台藩内。大淀三千風の発句あり―日七)。  
塩釜。本荒郷。木下。田子(古)。玉田横野。華(花)淵。奥細道(以上春)。青葉崎。石榴岡。広瀬川。松浦島。慮橋。オモツク籬島。野田玉川(以上夏)。宮城野。小鶴沼。壺碑。奥海。戀路山。末松山。名取川(以上秋)。浮橋(島)。金華(花)山。都島。裏橋。沖の井。十符。千賀(家)浦(以上冬)。(括弧内は三千風の「奥州仙台亀岡八幡宮遠望詞並二十八品定」(貞享四)。日一による)。

## 三十

○〔戦国三十家〕(戦国時代の武將―大人名事典)。

北畠。今川。武田。小笠原。村上。両上杉。千葉。宇都宮。里見。佐竹。大崎。芦名。伊達。南部。最上。小野寺。佐々木。土岐。武田狭若。畠山能。細川津。赤松。山名。一色。大内。細川阿。大友。菊池。島津。竜造寺。

○〔日本広邑三十〕(貝原益軒撰「和漢名数」地理部)

奈良。伏見。境（堺）。大津。名護（古）屋。岐阜。山田。安濃津。敦賀。福井。金沢。高田。甲府。駿府。仙台。会津。広（弘）崎（前）。水戸。和歌山。徳島。姫路。岡山。広島。萩。福岡。博多。佐賀。長崎。限（熊）本。鹿児島。

### 三十三

○〔奥州三十三番順礼〕（西国三十三札所に次ぐもの。平泉の藤原秀衡再興という。のち気仙沼登米郡出身者により再興さる。〔岩手県郷土資料目録〕に〔奥州三十三所御詠歌・伊達藩内〕が見える。〔勝尾寺文書〕第一に、嘉暦二年<sup>(1329)</sup>十一月三日、阿闍梨行祐の寄進状あり、それに廻国巡礼者云々とある。大鑑禪師の「禅居集」に、宗禅人之四明巡礼の句がある。中尊寺には延徳六年<sup>(1494)</sup>、文明、永正、天文等の年号のある西国三十三所納札があるから、その影響もあつたのであろう―河S 29 11 11。

一番清水観音（花巻市太田の音羽山清水寺は大同二

<sup>(807)</sup>坂上田村麿十一面観音勧請。日本三清水寺の一）。三番長谷寺（登米郡清水村長谷山、北上川東方にあり、川東の観音という）。

十四番大慈寺（登米郡米川村）。十五番華足寺（登米郡―毎S 60 6 24）。二十三番長承寺（登米郡中田町上沼字大島。弘仁元<sup>(810)</sup>慈覚大師当地に庵を結び千手観音を彫刻安置、嘉承二<sup>(849)</sup>補陀落山観音寺と号す。長承元<sup>(1132)</sup>天台宗覚源法印住持、平泉藤原基衡再興。補陀落山長承寺と改む。文禄元<sup>(1592)</sup>曹洞に改宗。藩政時代寺領七石―毎S 60 6 24）。二十四番鹿倉観音（宮城郡浦戸村）・・・

○気仙三十三処観音（中御門帝享保初、高田村処土佐々木三郎左エ門知則者。選郡中古来観音三十三処）。一番今泉村仙藏寺。二番同村金剛寺。三番長部村古屋堂。四番同村要害。五番同村上長部。六番矢作村片寺家。七番同村観音寺。八番竹駒村延命寺。九番同村羽縄。十番同村正覚寺。十一番横田村常光寺。十二番同村福寿庵。十三番世田米村向堂。十四番同村

満藏寺。十五番下有住村中清水。十六番同村長桂寺。  
十七番上有住村城玖庵。十八番同村坂本。十九番猪  
川村稻子沢。二十番同村館下。二十一番田茂山洞雲  
寺。二十二番猪川村長谷寺。二十三番赤崎村田傍<sup>ゑ</sup>。二  
十四番末崎村熊野堂。二十五番広田村小館。二十六  
番小友村辰金山。二十七番同村常善寺。二十八番勝  
木田村立山。二十九番浜田村普門山。三十番高田村  
大石。三十一番同村氷上山本地堂。三十二番同村千  
福寺。三十三番同村浄土寺。

○国分荘(庄)三十三郷(邑)(国分氏荘領。国分氏は  
慶長元年衰亡。山根通19村と沖通14村に分つ)。

上愛子。下愛子。作並。熊ヶ根。郷六。芋沢。大倉。根  
白石。福岡。朴沢。田中。小角。実沢。古内。七北  
田。市名坂。上谷刈。荒卷(牧)。北根。野村。小田  
原。松森。鶴ヶ谷。苦竹。南ノ目。小泉。霞ノ目。長  
喜坂。蒲ノ町。伊在。六丁目。荒井。荒浜。

○三十三番札所(仙台府内。観世音)。

一番正観音(亀岡法楽院)。二番千手観音(大崎観滝

庵)。三番正観音(北山東照山定光寺)。四番千手観  
音(北山通宝山永昌寺)。五番正観音(北山大鶴山昌  
繁寺)。六番十一面観音(北山 功德山莊嚴寺)。七  
番正観音(北山増上山大願寺)。八番正観音(同心町  
湯目山宝光院)。九番正観音(元寺小路成就山満願  
寺)。十番千手観音(原町慈眼山延寿院)。十一番正  
観音(天神社内茯往山仏生寺)。十二番正観音(天神  
下喜光山慈恩寺)。十三番正観音(天神下正風山金勝  
寺)。十四番千手観音(八塚真城山大林寺)。十五番  
正観音(八塚五劫山愚鈍院)。十六番正観音(八塚十  
劫山成覚寺)。十七番正観音(八塚法王山阿弥陀寺)。  
十八番正観音(八塚喜光山光寿院)。十九番飛正観音  
(連坊小路天苗山皎林寺)。二十番正観音(石名坂万  
谷山円福寺)。二十一番如意輪観音(連坊小路金秀山  
瑞雲寺)。二十二番正観音(同上福現山保寿寺)。二  
十三番如意輪観音(同上恵日山遍照寺)。二十四番正  
観音(木下東護国山尼寺)。二十五番千手観音(同上  
護国山国分寺)。二十六番正観音(日辺村良善院)。二

十七番千体仏(飯田村千手山満藏寺)。二十八番正観音(同上観音山円淨寺)。二十九番十一面観音(須田玄蕃館)。三十番正観音(今泉村高福寺―毎S 30 11 21 仙台市六郷今泉)。三十一番十一面観音(落合大善院)。三十二番勢至観音(根岸村成就院)、三十三番正観音(恋路山経部山大藏寺)。

○宮城三十三番札所(柴田、名取、宮城三郡―「宮城県の金石文」171頁)。

一番。名取郡中田小清水長谷堂。二番。柴田郡舟迫天神宮(堂)。三番。名取郡笠島塩(白)通寺。四番。柴田郡川崎長橋観音堂。五番。宮城郡原町尼寺。六番。同郡岩切榎島屋敷。七番。同郡同村神明堂。八番。同郡高砂村二本木山。九番。同郡多賀城村三井寺。十番。同郡福室村松堂。十一番。同郡多賀城村安楽寺。十二番。同郡岡田村川島明神社。十三番。同郡中野村高見堂。十四番。同郡蒲生村竹内観音堂。十五番。同郡中野村かしましはんま(中源寺)。十六番。同郡多賀城村すきはし。十七番。同郡末松山。十八

番。同郡〔松橋〕。十九番。同郡野田玉川。二十番。同郡笠神舟塚。二十一番。同郡七ヶ浜薬師堂。二十二番。同郡花淵富岡山。二十三番。同郡吉田金剛寺。二十四番。同郡東宮明神堂。二十五番。同郡利府村船置山。二十六番。同郡松島観世音。二十七番。同郡桂島鶴ノ峰。二十八番。同郡竹谷しけみ山。二十九番。同郡利府村明神堂。三十番。同郡塩釜願成寺。三十一番。同郡多賀城村亀ノ堂(宮)。三十二番。同郡田中地(千)引岩(堂)。三十三番。同郡八幡桜木観世音。

○仙台の三十三観音。吉岡一男撰。S 61・8・1発行参照。

### 三十五

○国分の三十五城(撰者・時代未詳。国分は国分郷とは必しも一致しない。『宮城町誌』第8編・史蹟・名勝)。(一城原観)。

神楯城(高城周防)。古城(堀江伊勢)。笹森城(鶴



谷次郎)。松森古城(国分盛重)。古城(八乙女淡路)。山内城(須藤刑部少輔)。福岡城(古内主膳)。根白石城(白石三河)。葛岡城(馬場筑前)。郷方城(不詳)。南目城(南目紀伊)。小泉古城(国分氏)。霞目古城(郷六大膳)。二郭(高平大学)。長命城(源頼朝陣取の遺跡)。小兵城(古内近江)。朴沢平城(朴沢藏人)。朴沢平城(郷六大膳)。杭城(須藤刑部)。馬場城(馬場治部大輔)。古天城(不詳)。古城(不詳)。塩釜城(駒犬城)(佐藤左近)。吉田城(吉田某)。竹林城(菅谷左近)。東光寺城(餘目某)。多賀城(奥州国司の館)。織名城(不詳)。熊ヶ根城(六丁目某)。花淵城(花淵紀伊)。仮粧城(伊達上野政景)。八幡城(八幡兵庫)。森郷城(師岡某)。高森城(伊達将監家景)。

### 三十六

○氣仙三十六騎(慶長五年刈田白石役、葛西家四臣及び邑民三十六人、貞山公麾下に属し、矢作久右エ門、

小泉能登指揮す―仙金附録四)。

矢作久右エ門<sup>今景</sup>人。小泉能登<sup>高田</sup>人。白井囚獄<sup>今景</sup>人。雅楽

(之)助<sup>上同</sup>人。紺野二兵<sup>工上同</sup>人。主殿<sup>長部</sup>人。熊谷隼人<sup>高田</sup>人。及

川主膳<sup>上同</sup>人。平右エ門<sup>上同</sup>人。村上大学<sup>人矢作</sup>人。村上平兵<sup>工上同</sup>人。菅

野十(七)郎左エ門<sup>人竹駒</sup>人。安部治部<sup>上同</sup>人。小林外記<sup>上同</sup>人。及

川總(惣)右エ門<sup>人横田</sup>人。笠島(原)与兵<sup>工上同</sup>人。菅原甚

六<sup>上同</sup>人。菅原平左工門<sup>上同</sup>人。高橋二兵<sup>工世田</sup>人。中里兵庫<sup>上同</sup>人。菊

地掃部<sup>上同</sup>人。又六(市)<sup>住村下有</sup>人。威徳院<sup>上住人佐々木氏</sup>人。玉(国)藏

院<sup>上有住人杉田氏</sup>人。鈴木六郎兵工<sup>市日頃</sup>人。白井三右工門<sup>人猪川</sup>人。及川

二兵工<sup>上同</sup>人。金采女<sup>人立根</sup>人。千田木工助<sup>人綾里</sup>人。及川織部<sup>人越喜</sup>人。

白井彦右工門<sup>人広田</sup>人。黄川田与兵工<sup>人小友</sup>人。紺野彦右工門<sup>上同</sup>人。

栗原將監<sup>人勝木</sup>人。及川掃部<sup>人浜田</sup>人。熊谷弥陸<sup>上同</sup>人。

○〔集外三十六歌仙〕(一名中興三十六歌仙。後水尾院時代の歌人)。

東常縁。津守国冬(豊)。淨通尼。宗長<sup>人柴屋</sup>人。宗碩<sup>人月村</sup>人。

永閑<sup>人能登</sup>人。正徹<sup>人庵</sup>人。正広<sup>人頃</sup>人。兼載。太田道灌。三好長慶。

宗養。伊達政宗。猪苗代兼与。里村玄陳。佐川田昌

俊。尚澄<sup>人惣</sup>人。東山長嘯。種玉庵宗祇。心敬。桜井基佐。

牡丹花肖柏。蟠川親富(尚)。三好冬康。臨江齋紹巴。宗牧。細川玄旨。心前。毛利元就。北条氏康。武田晴信。北条氏政。滝川氏真。里村昌吒。小堀政一。逍遙軒貞徳。

○仙台俳諧三十六家仙(佐沢広胖編「風雅余韻」附録(M40)。「仙台郷土史談会報」3)。

保春院殿義姫。大條是水。荒川洞月。松枝朱角。菅原居易。高橋東皐。山田四鶴(画工嘉工門か—仙台市史五・仙台地方絵画史画工)。武田朱滴・戸沢朱扇。林六無斎。阿子島棗水。鈴木朱玉。丈芝房白居。亘理乙二。大場雄淵。鈴木道彦。新妻卯蹄。遠藤曰人。釈南山。東東洋。菅井梅閑。堀越秋来。鈴木天禄。田村巢居。横田禾月。小島舍用。伊藤宗古。千葉無縛。会田五雲。細屋仙台庵。杉沼無物。村井江三。山本杉芽。石原馬年。真壁北山。片倉鬼孫。

### 三十七

○回穀改所三十七(仙台藩回漕米改所)。

名取郡玉崎。閑上。伊具郡丸森。宇多郡釣師。亘理郡荒浜。宮城郡蒲生。大代。塩釜。高城磯崎。寒風沢。深谷川下り。大塚。大曲。野蒜。鹿又。和淵。登米郡大泉。江刺郡下河原。上臈沢(郡)相去。牡鹿郡湊。川口。袋谷地。小竹。小淵。遠島。渡波。十五浜。本吉郡折立。志津川。柳津。追浜。波路上。気仙沼。名豆浜。鮪立。長部。大舟渡。

### 三十八

○仙台三十八橋(仙台城下町の橋。「囊」2。「東奥老土夜話」「仙台市史」。河S 32 7 31・「夜」)。板橋(田町)。一夜橋(大工橋前身。川内大工橋)。五ッ橋。姥ヶ橋(新坂通)。扇坂(河内)。大橋。カラスミ橋(荒巻)。極楽橋(川内二丸跡)。コロゲ橋(一名コロロギ橋、北田町)。鮫(仙台市史作醒)か橋(本荒町)。思案橋(二十人町)。清水が橋(俗称梅ヶ橋。東六番丁)。スコング橋(長町宮沢)。筋違橋(川内)。千貫橋(同上。藩主義山公の時板橋を土橋とし杉を植う)。

袖乞橋（片平丁）。中ノ瀬橋。鶏橋（大崎。鶏の伝説あり）。聖橋。評定橋。振袖橋。三ッ橋。戻り橋。澱橋（元禄七年八月三日洪水により支倉橋流失、翌八年八月頃、普請し同九月半に落成す。淀見橋という。綱村公治家記録に元禄七年十月二日澱橋と命名すといふ）。・・・

### 三十九

○〔日蓮宗三十九本山〕（日蓮宗の單立本山。全国に39あり。外に總本山一、四大本山あり、合して四十四箇本山という―大日本寺院總覽）。

本山孝勝寺（光明山。仙台市東九番丁）。  
妙法寺梨山。藻原寺千葉。妙伝寺京都。報恩寺和歌山。鏡忍寺千葉。  
本土寺同上。弘法寺同上。海長寺岡静。蓮永寺同上。実相寺同上。妙覚寺千葉。妙法寺新潟。本法寺京都。妙宣寺新潟。妙照寺同上。正法寺千葉。国前寺広島。本満寺京都。妙純寺神奈川。仏眠寺岡静。本覚寺同上。久昌寺茨城。日本寺千葉。光勝寺佐賀。妙成寺石川。本立寺岡静。妙本寺神奈川。妙頭寺栃木。根本寺新潟。立本寺京都。妙

国寺堺。本遠寺梨山。妙興寺千葉。妙覚寺京都。妙法寺岡静。頂妙寺京都。誕生寺千葉。竜口寺神奈川。

### 四十四

○〔日蓮宗四十四箇本山〕。

本山孝勝寺等三十九本山に總本山久遠寺（山梨県身延山）。大本山本門寺（東京池上）。大本山妙頭寺（京都）。大本山本圀寺（京都）。大本山法華経寺（千葉）。

### 四十七

○牡鹿四十七浜（一名遠島。牡鹿郡）。

大原。給分。福貴浦。清水田。牧浜。狐崎。小細倉。竹浜。小積。荻浜。折浜。指浜。祝田。小竹。田代。桃浦。月浦。鷲神。小乗。針浜。浦宿。横浦。野々浜。塚浜。大石原。寄磯。新山。鮫浦。谷河。鮎川。十八成ツツリ。長渡。網地。江島。御前。出島。佐須。竹浦。尾浦。桐崎。女川。石浜。宮ヶ崎。侍浜。泊浜。高白。飯子。

## 四十八

○四十八滝（宮城郡七北田中山地区）。

中山不動滝を中心として、鳥滝など・・・

○四十八滝（黒川郡大和町から南へ十キロ、吉田地区から宮床への途中、吉田川中流の鎌房流（通称四十八滝）をいう―河S 34 12 1）。

○鳳鳴四十八滝作並街通称  
日本地区（宮城町誌第八編史蹟・名勝）。

○〔秀衡四十八鐘〕（藤原秀衡が白河から外ヶ浜に至る間に四十八鐘を設置し時変に備えた―仙金14）。

桃生郡北村鐘堂（仙台新寺小路真正楽寺、慶長12年仙台領最初の真宗寺院の意味でかく命名した。伊達政宗の代に日辺から当地へ勧請、其跡へ寺を建つ―「靈峰旭山」。河夕S 34 8 31）。

## 五十四

○〔陸奥五十四郡〕（陸奥五十四郡。田数百八十一万九千石。新井白石撰「五十四郡考」。岡元龜撰「陸奥郡

郷考」がある。「太平記」20、奥州下向勢逢難風事の條に、奥州五十四郡云々とあり、また同書19に奥州国司顯家卿上洛云々の條に、奥州五十四郡の兵ども云々とある。「孝圣楼漫筆」2（五十四郡）。

白河、黒川、盤瀬、宮城、会津、耶摩、小田、安積、安達、柴田、刈田、遠田、名取、信夫、菊多、標葉、阿曾沼、行方、盤手、和賀、河内、稗繼。高野。曰利、玉造、大名門、賀美、志多、栗原、江刺、膽沢、長岡、登米、桃生、牡鹿、郡裁、鹿角、階上、津軽、宇多、伊具、本吉、石川、大沼、食摩、稻我、斯波、盤前、金原、葛田、伊達、牡（男）鹿、閉伊、気仙。

## 六十九

○〔六十九次〕（説。江戸時代の交通、一名奥州街道（仙台道））。

越河、斎川、白石、葛田宮、金加瀬、大河原、舟迫、槻木、岩沼、倍田、中田、長町、仙台、七北田、新町、吉岡、三本木、古川、荒谷、高清水、月立、宮

野、沢辺、金成、有壁、一ノ関、山ノ目、前沢、水  
沢、金崎、・・・

## 七十二

○仙台七十二候（仙台藩天文方戸板保佑考案。仙台掌  
天学者多植茂蕃に「安永五年孟秋念五日奥州仙台七  
十二候之記」がある。又東北大学林集書119には「仙  
台七十二候」早井次賀撰、とある。「続和漢名数」上  
に、五日爲一候。三候爲一氣。六候爲一月、七十二  
候爲一年、とある。「宮」12「仙台藩における和算と  
天文」。河S 34 6 9（10）。

春雨解永<sup>月正</sup>。草木萌動。鶯始鳴。忘草始生。暖暄爲霞。  
梅花始開。

鴻雁北羽虫飛<sup>月二</sup>。暴風数行。蝦蟇浮溝。雀始巢。野草

華黃梅咲。水仙自開。

白梅芳盛<sup>月三</sup>。桜始咲紅梅発色。虹始見。霞盛日光紅。

梨桃始笑。霜止芭蕉秀。蕨初生。玄鳥至麦穗漸出<sup>月四</sup>。

躑躅花盛。鵲始鳴蜻蛉始生。牡丹瞿栗芍薬開。桐藤

櫻杞華。柴竹笋始生。

蚊始生腐草爲蚩<sup>月五</sup>。麦秋至湿雨甚行。毛虫化蝶。茄胡

瓜始商。蚩群飛蜩始鳴。樹木方盛。

栗花落盡、湿雨將晴<sup>月六</sup>。石榴開梅始黃。分竜雨、熟瓜

始商。涼風至禾穎初出。大蟬初鳴。

虫声漸<sup>月七</sup>。百合桔梗華。寒葦微吟、忘草花盛、諸虫群

声、百日紅萩華。

桐甫結華<sup>月八</sup>。大風雨時発。蜩声咸治。黄花初商。胡桃

始落山女実。山茶始開鴻雁来。寒露降。

山椒赤榛実<sup>月九</sup>。蟀声在戸。栗胡桃盛落。草木日黄。霜

始降水結。寒風入身。時雨行紅葉美<sup>月十</sup>。雪花初飛。湿

沢歎冬生。漁沈水底。地始凍。樹葉咸落。

閉寒成冬<sup>月十一</sup>。虹或北見。蚯蚓結。福寿草始生。樹木

含生氣。水泉温搖井底。

芹乃榮<sup>月十二</sup>。雉始鳴求嶋。陂冬行井水涸。雞始乳卵。水

方盛水沢復。福寿草華。

百

○〔奥羽一百社〕（一名奥州百社。陸奥百社。大社十五

座。小社八十五座。醍醐帝延喜年中（901～922）勸請。

式内社。志田郡數玉村數玉早御靈神社前に奥州一百社碑がある（奥）。白河郡七六。刈田郡一大。名取郡二小。宮城郡四二。黒川郡四小。加美郡一小。色麻郡一大。玉造郡三小。亘理郡四小。信夫郡五大。志太郡一大。盤城郡七小。標葉郡一小。牡鹿郡十大。桃生郡六大。行方郡八七。栗原郡七六。膽沢郡七小。新田郡一小。磐瀨郡一小。会津郡二小。小田郡一小。耶麻郡一小。斯波郡一小。気仙郡三小。安積郡三二。柴田郡一大。宇多郡一大。伊具郡二小。磐井郡二小。江刺郡一小。

○仙台百人一首（一名宮城百人一首。和歌。一卷。仙

台藩主十三世慶邦命編。小倉百人一首の各古歌の一句をとりて詠む。文久元年10月、伊東祐休進上。保

田光則が慶応二年十月序を作る（仙台双書6）。

伊達慶邦。同孝子。砂沢爲胤。西山隆從。保田光則。

中地隆恭。中橋元長。釈弥子。錦織即休。大井亮栄。

松本義次。中村友意。伊達邦教。片倉景福。伊達邦

成。真田幸敏。伊庭昌道。浜田景恵。貞操院保子。山

本友諒。竹中道穩。大立目克敬。近藤広雄。一条坦。

河田安尚。泉田基光。斎藤勝明。入江清慎。砂沢爲

知。松岡爲英。中川利和。横山爲從。日野資始。堀

友明。松枝時成。芦上倫明。瀬上則明。於清子。伊

東祐休。松本成章。仙石実親。清水景福。佐瀬能隆。

安倍広範。木村信方。武沢保守。釈永憲。梅津教尊。

油井景教。大立目近誼。真柳辰一。森好道。貞寿院。

瀬戸千世子。須江守成。吉田輔子。道子。伊達道子。

繩子。松本利子。下郡山澄子。須江市子。塩隆業。長

沼致中。茂庭真珠院。修驗諦良。坂野貞子。渡辺好

次。兒玉玄安。清水道幹。富塚成隆。大町元子。高

塚観考。保田光影。遠藤真近。谷田敬修。山内道煥。

後藤尚行。和田盛明。笠原蕭子。畠中順之。佐藤玄

仙。村田明哲。南条清庵。清水動慶。下田雄喜。笠

原槇子。清水院驕子。戸田靜子。氏家次尚。中村尚子。佐藤親景。平田範聰。河野楊庵。大松沢実教。熊野直明。斎藤永配。木村信直。遠藤文信。

○〔当世百人一種〕〔翁草〕一五三。

和歌法。有職二条。神学吉河。仏学智積院蓮。禅法黄梁。博学院弘文。和学水戸。朱子学山崎闇斎。理学伊藤仁斎。心学熊決了介。医学小戸。医者向井。小兒科竹田。口中医喜康。針灸了長。軍法北条安。兵法柳生飛。筆道鳥山孫。絵探幽。箏殿。楽人辻伯鞠飛鳥。能保生。脇春藤六。謡喜多七。大鼓葛野九。小鼓觀世親。太鼓金春又。狂言大藏弥。舞幸伊。平氣並河。三味線檢校。上瑠璃革堂觀。説経日暮小。書物集松平加。連歌祖。俳諧大坂。伽羅間常白。立花池六角。古筆目利了。刀目利本阿。彫物後藤四郎兵衛。焼物御室。組細工鼠。つき物藤。塗師道。飛石居御藏。松つくり線屋五郎。庭作竜松地。蒔絵田村長。香具はり。歌舞妓上村。揚弓立本寺。手鞠妙蓮寺。音頭取井家。碁道將基道有。中將基河内屋。博奕山本邸。談義小野見。調子聞方都。大工中井。弓左門野勘。傾城島原。吳服屋後藤源。茶上。筆裏。くろ茶岡。剃刀埋。合葉とら。棕喜。饅頭瀬。

菓子両口屋。安樂院女。福僧本願寺。文武執権板倉内。武道者

井筒屋。浪人京極。威光酒井雅。金揃井河。いつてつ百万遍。平兵工。安知。桑頭。善六。万靈。

へつらひ慈濟院。大へい三竹。大頭智忍院。臆病者

宗対馬家来平。惡人雲庵。氣随喜多。まいす南禅寺。無分別

北野德。文盲淨土。殊勝堀尾。情こは日蓮。奢はな。道具目

利山口。うそつき松波。物知たて大徳寺。法皇後水。女院

馬求。院殿。〔右は寛文延宝の頃歟〕。〔私案実数九八也〕。

○〔日本觀光地百選〕〔S 22〕。

宮城藏王山が山岳部第一となる・・・

○〔日本新百景〕〔S 25 全国景勝地百選―毎〕。

宮城県内では、松島、長浜海岸、気仙沼浦、藏王山、青

根温泉等。

○〔日本百景〕〔S 6 東京日々新聞社募集。日本百景

碑あり―毎 S 41 5 23〕。

石巻など、

○〔日本百滝〕〔河夕 S 34 9 28〕。

秋保の不動大滝など。

○〔陸奥百歌撰狂歌〕（千柳亭唐曆（綾彦）  
（錦織即休、名弘賢、元治元55卒、70名）ら編。文政2。）

身廻立子。四方白壁。本場種彦。畠竹広。広大寺無  
 遍法師。六和園笑門。越辺葉佐丸。尾石女。虹橋長。  
 酒恒道。水野往成。算盤玉丸。露春彦。六歌園多寄  
 之数。千錦堂百綾。雄島磯道。庭の早来。調唐琴。緑  
 千條。天齡保世。桜愛雄。文山路。詠飛車子。遠山  
 住。水清住。梅香袖。蘭竹盛。橘其葉。秋風閑盛。筆  
 道守。花下庵二本法師。東流亭清人。東柳亭千杖女。  
 柳元子。東白西。山柴住。望月丸。葉名道芳。蜘蛛  
 守。酒屋益来。金花園州広。安積庵景住。夜語永喜。  
 花魁亭魁。下細閑文。錦袖子。磐手閑主。前川月満。  
 初野鷹見。秋風亭真艶。奥海潮道。上水下見。国字  
 金文。寅浜館。千字唐文。天津御空。抑鬢亭。文笹  
 林。満草刈安。千丹二羽。千慮亭一得。木百條。端  
 午百草。田月亭。鴨百羽。島台亀成。東雲朝雄喜。十  
 種音信。歌百来。笠菅雄。鏡望丸。秋蘭亭近道。波

枕園。山月亭。老松福風。抑古亭。柳眼堂。宿元女。  
 極芽堂。初狩唐衣。片糸縫女。九析輔。柳沢。見月  
 亭。南月亭。十府亭。百葉亭長成。小鶴池澄。直の  
 屋。宝真寿鶴。正木屋。花元住。千代澄義。六都花  
 義。千緑亭。吳山人。春風情。千柳亭（原缺兩名）。

## あとがき

我われ社会のなかには人意以外に自然による順位が  
 あるようで、そこにいわゆる名数というものの生ずる  
 因縁があるようである。

日常倫理の教科書とも見られる「論語」には比較的  
 この名数が多いが、またこれは各方面にみられる。た  
 とえば仏教では法数といい、特に法相宗ではこれが顕  
 著であるし、キリスト教などにも聖教が云々される。現  
 今球界の三冠王などは名数とみられようからこれは世  
 界中に漲っている。

小篇は昭和三八年九月、図書館参考資料として騰寫  
 出印したもの三訂で、未だ完稿を見ない。去年、日本



の名水百選が選ばれ、本県にもその入選があった。また本年四月、河北新報で宮城県新名所百選を選んだ。かくて新增される名数もある。故に小篇は永遠に、恐らく未定稿かも知れない。

昭和六十二年四月二十日 矢島 玄亮

○補遺

○宮城県教育界の双壁（毎S 62 6 25—旧制中学校長）。小平高明第九代宮城県立第一中学校長（T 九ゝS 十七在職）。河合絹吉第五代宮城県立第二中学校長（T 九ゝS 十二在職）。〔東の小平、西の河合〕と云われた〕。

○〔新詩社の四女流歌人〕（毎S 63 1 20）。

原阿佐緒。岡本かのこ。三ヶ島葭子。原田琴子。

○〔日本七犬野鳥観測地〕（毎S 62 12 26）。

宮城県蒲生海岸・・・

芋沢七館址（宮城町誌第八編史蹟）。

(1) ○江天館（芋沢下区七子田囲徳源寺前。天正年中国

分氏家臣本郷六左エ門居館という）。

(2) ○西館（芋沢大竹区前囲。貞山公叔母某の居館と伝う）。

(3) ○本郷館（芋沢下川前区本郷。武將花坂勘解由居館か。〔宮城郡誌〕に慶長年間には本郷盛重（国分盛重）居館と伝う）。

(4) ○原館（芋沢原区館囲。館主未詳）。

(5) ○寺下館（芋沢原区寺下。館主未詳）。

(6) ○荒神館（芋沢下区荒神横向囲。館主未詳）。

(7) ○成館（芋沢上区荒神屋西囲。館主未詳）。

鳴合の七つ石（宮城町誌第八編史蹟名勝）。

(1) ○相逢石。(2) ○松茸石。(3) ○鞍掛石。(4) ○臥牛石。

(5) ○起駒石。(6) ○角鷄石。(7) ○疊石。詩歌に曰く、

相逢の松茸石に鞍掛けて、臥牛・起駒・みみずくも、疊

石とてやどるうれしさ。

○うたつ十景（本吉郡歌津町）

泊崎荘バンフレット—S 62 10 23ゝ28）。田東山。長須賀

海水浴場。泊崎唐船番所。三島山歌津大橋。津竜院

魚竜化石。安養山西光寺。末の崎の荒磯。田の浦旭岡八幡神社。桶の口不動尊。鵜島の海岸。

○〔新日本百景〕（ ）。○

仙台は九位。

○〔森林浴の森百選〕（S 61年選定―毎S 62 9 8「宮城版」）。仙台自然休養林（1986 4 29―緑の文明学会緑の文明總會研究所）。

○〔全国白沙青松百選〕（S 62 3 10―宮城の名所）。

神割崎（志津川）。小泉海岸（本吉郡）。御崎浜（気仙沼）。松島。

○〔日本の道百選〕。

七ヶ宿街道〔夢街道〕（S 61年選定―S 62 9 10、仙台NHKディバック東北道標）。

○宮城の自然百選

1. 蕃山、太白山、船形山ブナ原生林（S 62 1 30―朝日新聞社。宮城県。東日本放送。財団法人森林文化協会）。

2. 広瀬川溪流（作並溪谷、奥新川溪谷）（S 62 10 30

―朝日新聞社。宮城県。東日本放送。財団法人森林文化協会）。

○〔名水百選〕（S 60、環境庁で全国の名水を選定）。

桂葉清水（宮城県高清水町―毎S 62 10 15）。

○追補

## 六

○郷六（ごうろく）は江六とも書いた（安永五年の道標石に「江六村」。江（河）六の六川は、芋沢川・綱木川・山鳥川・宮川・斎勝川・×。江西蕃山はこの江の西方の意か。〔埋火〕―26号ⅡS 58 2 3日の拙稿）。

（昭和六十三年三月彼岸中日）。